

ワイヤレスパソコンアダプタRU

取扱説明書

このたびは、ワイヤレスパソコンアダプタRUをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品
W-64RU1

1
お使用に
なる前に

2
95 Windows®

3
Windows® 98 /
Windows® 98 /
Windows® 98 /

4
Windows®

5
Windows®
2000

6
設定ユーティリ
ティの利用

7
データ通信機能

8
ご参考に






安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。

本商品を設置するための工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。

本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所へお申しつけください。

本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。

この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

Windows® 95は、Microsoft® Windows® 95 operating systemの略です。

Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。

Windows® 98 SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Editionの略です。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。

Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

Hayesは米国Hayes Microcomputer Products Inc.の登録商標です。

その他、本文中に記載の社名や製品名は各社の商標または登録商標です。

警告

本商品を分解・改造などしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、改造は法律で禁じられています。

本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また半年から1年に1回は、電源アダプタをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

お客様がご用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本商品を移動させる場合は、電源アダプタをコンセントから抜いてから、行ってください。電源アダプタコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・故障の原因となります。

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

万一、内部に水などが入ったり、本商品をぬらした場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタコードに傷をつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源アダプタコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタコードが傷んだら、電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

注意

本商品底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動・衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

電源アダプタを電源コンセント（AC100V）に差し込むときは、確実に差し込んでください。電源アダプタの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタの本体を持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

近くに雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

本商品や電源アダプタコードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源アダプタコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。

本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

電源アダプタコードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

お手入れをするときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。

STOP お願い

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

電気製品・AV機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

金属製家具などの近くは避けてください。

- 電波が飛びにくくなります。

周囲の環境（壁・家具など）によっては使用範囲が狭くなります。

硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなる場合があります。

本商品を積み重ねて使用しないでください。本商品を2台以上使用する場合、積み重ねて設置すると、内部に熱がこもり、キャビネットの表面が熱くなることがあります。

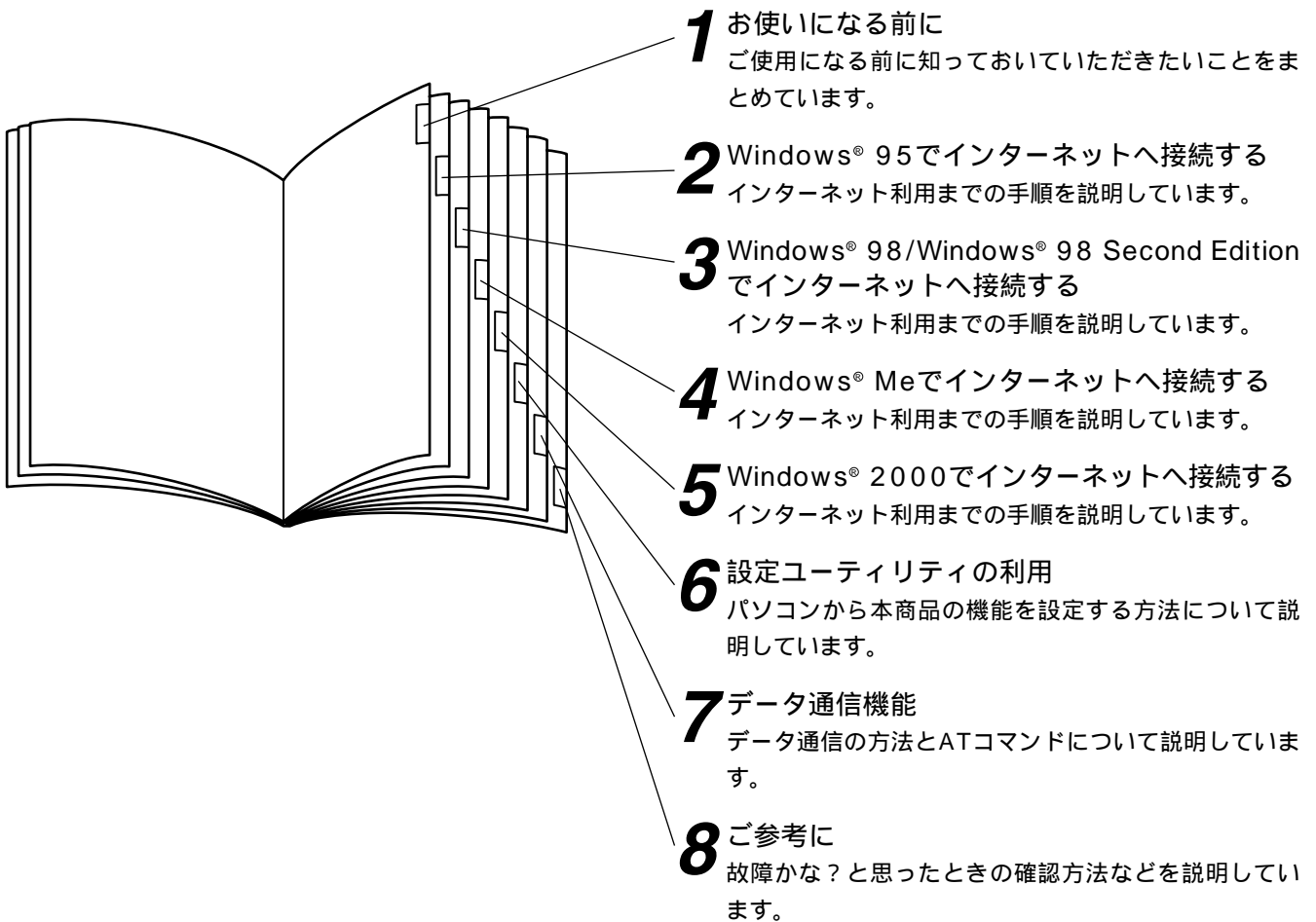
ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

コネクタに異物を差し込んだり、端子面をさわらないでください。故障の原因となることがあります。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成

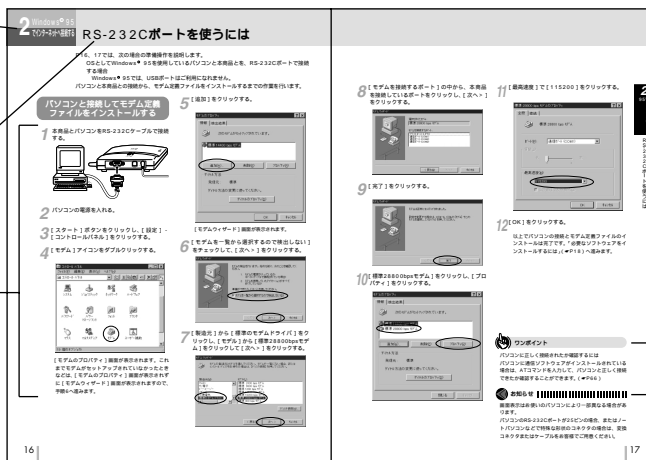


操作説明のページの構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明
順番に操作を説明します。



ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。

お知らせ
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください……2
この取扱説明書の見かた……6

1 お使いになる前に

特長……9
セットを確認してください……10
各部の名前……11
電源に接続します……12
電波の状態を確認する……12
インターネット利用までの手順……13
ご使用のOSを確認するには……15

2 Windows® 95でインターネットへ接続する

RS-232Cポートを使うには……16
パソコンと接続してモデム定義ファイルを
インストールする……16
必要なソフトウェアをインストールするには……18
ダイヤルアップネットワークを
インストールする……18
TCP/IPをインストールする……20
インターネットへ接続するには……21
接続先の設定を行う……21
TCP/IPの設定を行う……23
インターネットへ接続する……24

3 Windows® 98/Windows® 98 Second Edition でインターネットへ接続する

USBポートを使うには……25
パソコンと接続してUSBドライバと
モデムドライバをインストールする……25
RS-232Cポートを使うには……28
パソコンと接続してモデム定義ファイルを
インストールする……28
必要なソフトウェアをインストールするには……30
ダイヤルアップネットワークを
インストールする……30
TCP/IPをインストールする……32
インターネットへ接続するには……34
接続先の設定を行う……34
TCP/IPの設定を行う……36

インターネットへ接続する……37

4 Windows® Meでインターネットへ接続する

USBポートを使うには……38
パソコンと接続してUSBドライバと
モデムドライバをインストールする……38
RS-232Cポートを使うには……41
パソコンと接続してモデム定義ファイルを
インストールする……41
インターネットへ接続するには……43
接続先の設定を行う……43
TCP/IPの設定を行う……45
インターネットへ接続する……46

5 Windows® 2000でインターネットへ接続する

USBポートを使うには……47
パソコンと接続してモデムドライバを
インストールする……47
RS-232Cポートを使うには……50
パソコンと接続してモデム定義ファイルを
インストールする……50
インターネットへ接続するには……53
接続先の設定を行う……53
TCP/IPの設定を行う……56
インターネットへ接続する……57

6 設定ユーティリティの利用

設定ユーティリティをインストールするには……58
設定ユーティリティを使って設定を行うには……59
通信ポート設定を行う……59
通信速度の設定を変更する……60
フォールバック機能をON/OFFする……61

7 データ通信機能

データ通信を行うには……62
発信する……62
着信を受ける……62
通信を終了する……62

1
お
使
い
に
な
る
前
に

2
95
W
i
n
d
o
w
s
®

3
W
i
n
d
o
w
s
®
98
/
S
e
c
o
n
d
E
d
i
t
i
o
n

4
M
e
W
i
n
d
o
w
s
®

5
2
0
0
0
W
i
n
d
o
w
s
®

6
設
定
ユ
ー
ティ
リ
ティ
の
利
用

7
デ
ー
タ
通
信
機
能

8
ご
参
考
に

目次

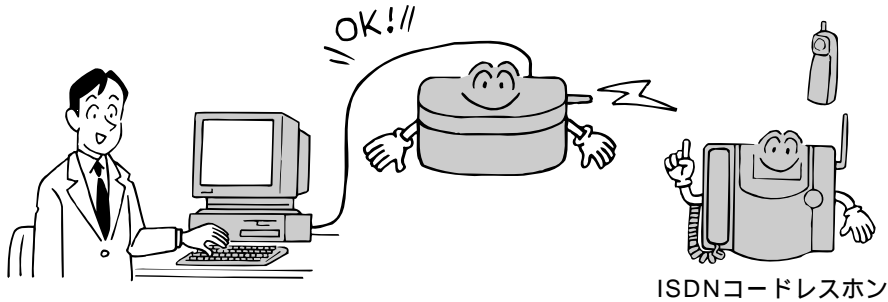
ATコマンド形式	63
コマンド形式	63
結果コード	63
レジスタ	64
コマンドモードとオンラインモード	65
ATコマンドを入力するには	66
ATコマンド詳細	68

8 ご参考に

インターネットにうまく接続できないときは	71
故障かな?と思ったら	72
USBポートに関するQ&A	73
バージョンアップ	75
索引	77
仕様	78
保守サービスのご案内	79

ISDNコードレスホンを介してINSネット64回線に接続

本商品をISDNコードレスホンに増設登録し、無線接続すると、INSネット64回線を使ってデータ通信を行うことができます。



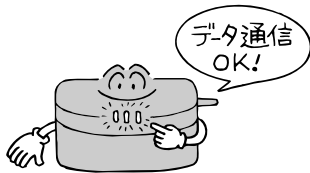
64kPIAFS / 32kPIAFS通信をサポート

コードレス電話機使用中など64kPIAFSで発信できない場合に、自動的に32kPIAFSで発信し直すフォールバック機能を搭載しています。



電波の強さや装置の状態をランプで表示

電波の強さはランプで確認できるので、データ通信が可能かどうか一目でわかります。また、圏外 / 圏内、発信中、着信中、通信中などの状態も、ランプの色で識別できます。(●P11、12)



ワンポイント

PIAFSとは
PHSインターネットアクセスフォーラムスタンダードの略称でPHSを用いたデータ通信手段のことです。

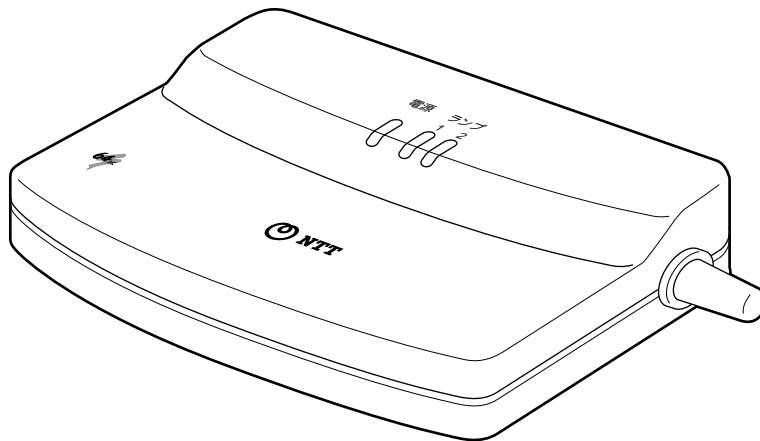
64kPIAFSでデータ通信する場合は
お買い求め時は32kPIAFSでデータ通信を行う設定になっています。設定を64kPIAFSに変更してください。(●P60)

お知らせ

ISDNコードレスホンに接続して使用するときには、増設登録が必要です。局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。

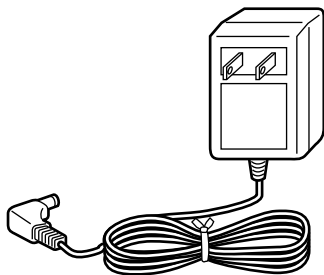
セットを確認してください

本体

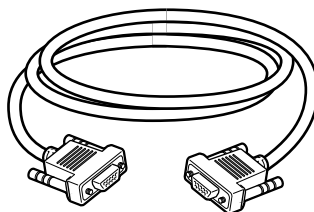


ワイヤレスパソコンアダプタRU (1台)

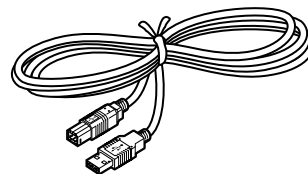
付属品



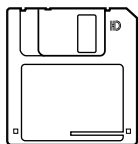
電源アダプタ(1個)
(コード約1.8 m)



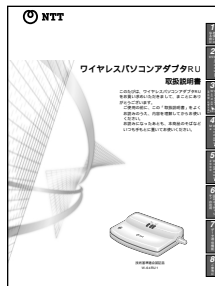
RS-232Cケーブル(1本)
(約1.5 m)



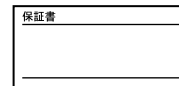
USBケーブル(1本)
(約1.5 m)



フロッピーディスク(1枚)



取扱説明書(1部)



保証書(1枚)

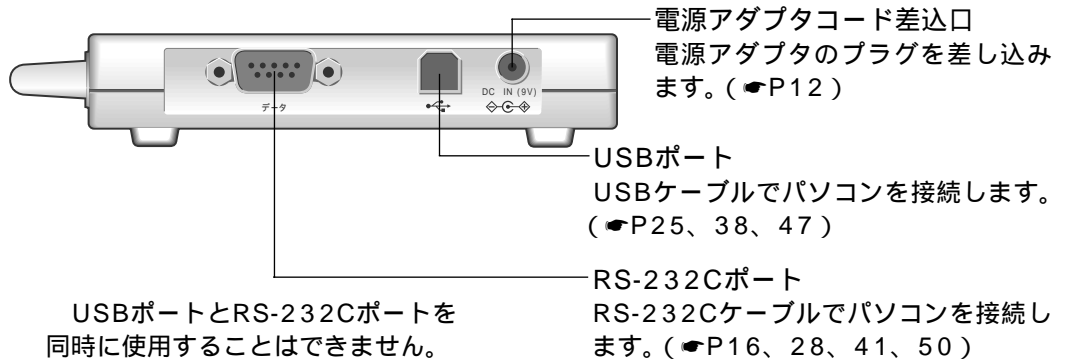
セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

各部の名前

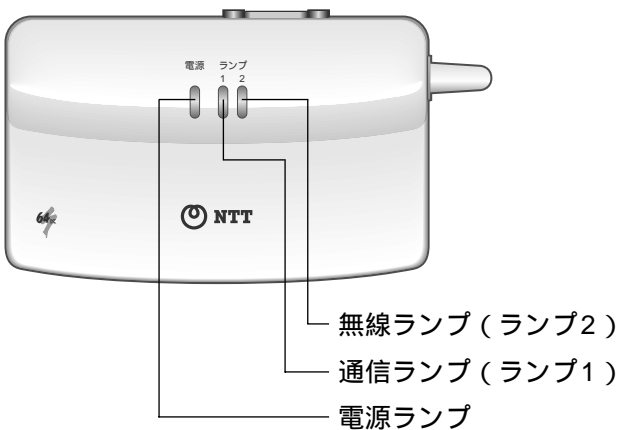
【上面】



【背面】



【ランプ表示】



ランプの種類	ランプのつきかた	本商品の状態
電源ランプ	点灯(緑)	電源が入っているとき
通信ランプ (ランプ1)	無点灯	待機中のとき
	点灯(オレンジ)	3.2kPIAFSで通信中のとき
	点灯(緑)	6.4kPIAFSで通信中のとき
	点灯(赤)	発信中のとき / 着信中のとき
	点滅(緑または赤)	主電話機などに増設登録されていないとき
無線ランプ (ランプ2)	点灯(緑)	電波が強い
	点灯(オレンジ)	電波が弱い
	点灯(赤)	通信不可
	点滅(緑または赤)	主電話機などに増設登録されていないとき

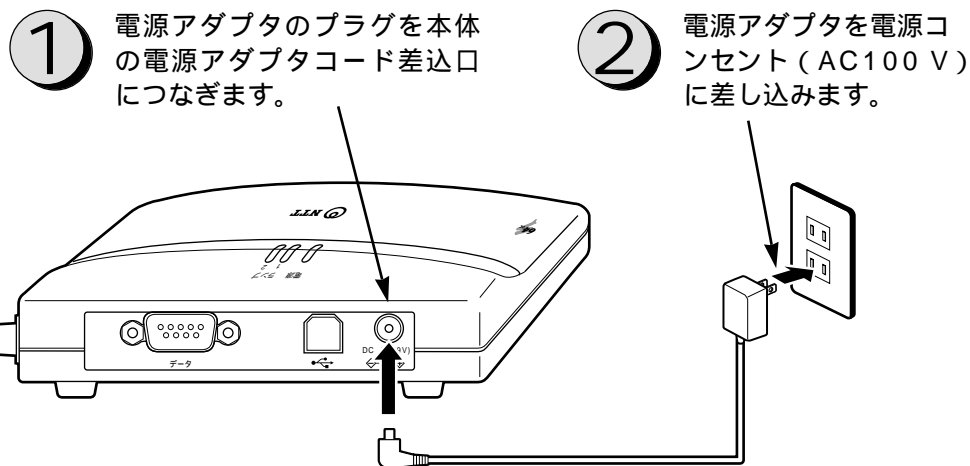


お知らせ

電源を入れたあと通信ランプ(ランプ1)と無線ランプ(ランプ2)が緑点滅(約2分後に赤点滅に変わる)しているときは、主電話機などへの増設登録が必要です。局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。

電源に接続します

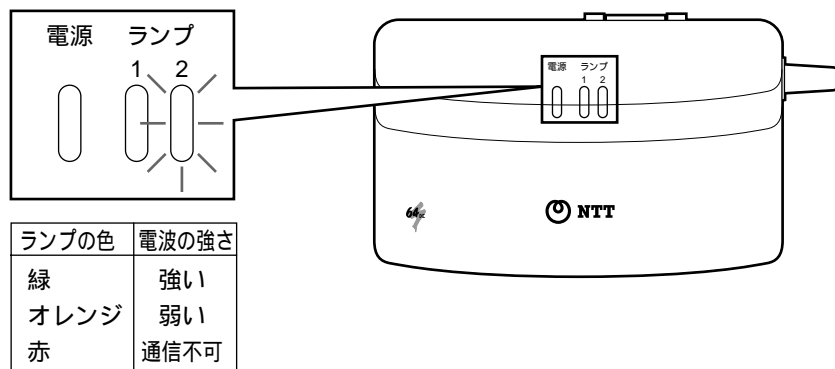
本商品を電源に接続します。パソコンには接続しないでください。



電波の状態を確認する

電波の届く範囲は、主電話機などから見通し距離で約100 m以内です。データ通信を行うときは、無線ランプ (ランプ2) が緑またはオレンジの状態のときに行ってください。電波の状態が悪いときはエラーが多発し、データ通信が停止することがあります。

待ち受け時には、無線ランプ (ランプ2) の色で電波の状態を確認してください。



お知らせ

電波状態の悪いところでお使いの場合は、100 m以内でも通信ができないことがあります。接続したいパソコンからなるべく離して設置してください。近づけると誤動作の原因となります。

インターネットに接続する一般的な手順は次のとおりです。

プロバイダへ加入する

パソコンと接続し、必要なソフトウェアをインストールする

- 付属のケーブルで、本商品をパソコンに接続し、各種のソフトウェアをインストールします。ただし、ご利用のパソコンによっては、すでにインストールされているソフトウェアもあります。インストールが必要なソフトウェアの種類は、パソコンのOSや使用するデータポートによって異なります。P14の表を参照してください。また、この取扱説明書でインストール手順を説明しているソフトウェアのほかに、WWW、電子メール、FTPなど、利用するサービスに合わせてアプリケーションソフトウェアをインストールしてください。

接続先の設定を行う

- 本商品を使用するための設定を行います。
- ダイアルアップネットワーク、TCP/IPにプロバイダから通知された内容を設定します。

インターネットへ接続する

- ダイアルアップネットワークを使用してインターネットに接続します。
- インターネットのさまざまなサービスを利用するには、利用するブラウザや電子メールなどのアプリケーションソフトが必要です。
- 詳細はソフトウェアメーカー、プロバイダにお問い合わせください。

プロバイダへの加入

インターネットを利用するには、プロバイダへの加入が必要です。一般の利用者は電話回線でインターネットサービスプロバイダに接続し、プロバイダを介してインターネットに接続します。プロバイダに加入すると、パスワードやDNSサーバのIPアドレスなど、インターネットへの接続に必要な内容が通知されます。詳細は、加入するプロバイダにお問い合わせください。



ワンポイント

インターネット利用に必要なソフトウェアの種類はパソコンがモデムをコントロールするための情報を記述したモデム定義ファイル、アクセスポイントにダイヤルしてプロバイダのサーバに接続するダイアルアップネットワーク、通信を行うためのネットワークプロトコルを提供するTCP/IPなどを必要に応じてインストールします。また、USBポートを使用する場合は、デバイスドライバ（USBドライバやモデムドライバ）のインストールが必要です。

インターネット利用までの手順

インターネットに接続する細かな手順は接続するパソコンのOSや、使用するデータポート（USBポートまたはRS-232Cポート）によって異なります。下の表でパソコンのOSと使用するデータポートを確認し、パソコンの接続とソフトウェアのインストールに進んでください。

パソコンのOS わからないときは、P15を参照して確認してください。	使用するデータポート	参照ページ	
		パソコン接続からソフトウェアのインストールまで	インターネットへの接続
Windows® 95	RS-232Cポート（USBポートは使用できません）	<ul style="list-style-type: none"> ●P16～17（モデム定義ファイルのインストール） ●P18～20（ダイヤルアップネットワーク・TCP/IPのインストール） 	●P21～24
Windows® 98	RS-232Cポート（USBポートは使用できません）	<ul style="list-style-type: none"> ●P28～29（モデム定義ファイルのインストール） ●P30～33（ダイヤルアップネットワーク・TCP/IPのインストール） 	●P34～37
Windows® 98 Second Edition	USBポート	<ul style="list-style-type: none"> ●P25～27（USBドライバ・モデムドライバのインストール） ●P30～33（ダイヤルアップネットワーク・TCP/IPのインストール） 	●P34～37
	RS-232Cポート	<ul style="list-style-type: none"> ●P28～29（モデム定義ファイルのインストール） ●P30～33（ダイヤルアップネットワーク・TCP/IPのインストール） 	
Windows® Me	USBポート	●P38～40（USBドライバ・モデムドライバのインストール）	●P43～46
	RS-232Cポート	●P41～42（モデム定義ファイルのインストール）	
Windows® 2000	USBポート	●P47～49（モデムドライバのインストール）	●P53～57
	RS-232Cポート	●P50～52（モデム定義ファイルのインストール）	



ワンポイント

RS-232CポートとUSBポートについて

RS-232Cポートは、モデムやターミナルアダプタなどに通信機器を接続する標準の規格として、多くのパソコンに装備されています。USBポートは、通信機器を接続するための新しい規格です。

本商品は2つのデータポートを装備していますが、USBポートとRS-232Cポートを同時に使用することはできません。

USBポートをご利用になるには

本商品のUSBポートに接続するパソコンは、以下の条件を備えている必要があります。

- ・USBポートを備えているパソコンであること
- ・次のいずれかのOSがインストールされていること
Windows® 98 Second Edition、Windows® Me、Windows® 2000

これらの条件を備えていても、パソコンによっては動作しない場合があります。（●P73）

Windows® 98のバージョンについて

Windows® 98には、Windows® 98とWindows® 98 Second Editionの2つのバージョンがあります。Windows® 98 Second Editionでなければ、USBポートを利用することができません。

ご使用のOSを確認するには

パソコンのOS（オペレーティングシステム）がわからないときは、次の手順で確認してください。

デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンを右クリックする。

ショートカットメニューの[プロパティ]をクリックする。

[システムのプロパティ]画面の[全般]([全般]がない場合は[情報])で、バージョンを確認する。

Windows® 95



Windows® 98



Windows® 98 Second Edition



Windows® Me



Windows® 2000



RS-232Cポートを使うには

P16～17では、次の場合の準備操作を説明します。

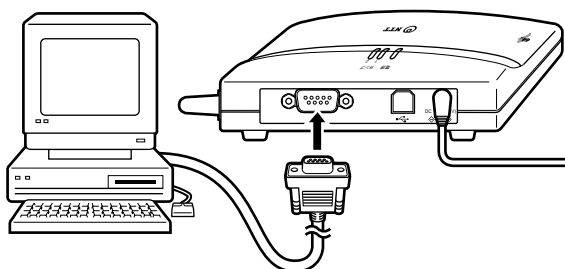
OSとしてWindows® 95を使用しているパソコンと本商品とを、RS-232Cポートで接続する場合

Windows® 95では、USBポートはご利用になれません。

パソコンと本商品との接続から、モデム定義ファイルをインストールするまでの作業を行います。

パソコンと接続してモデム定義ファイルをインストールする

1 本商品とパソコンをRS-232Cケーブルで接続する。



2 パソコンの電源を入れる。

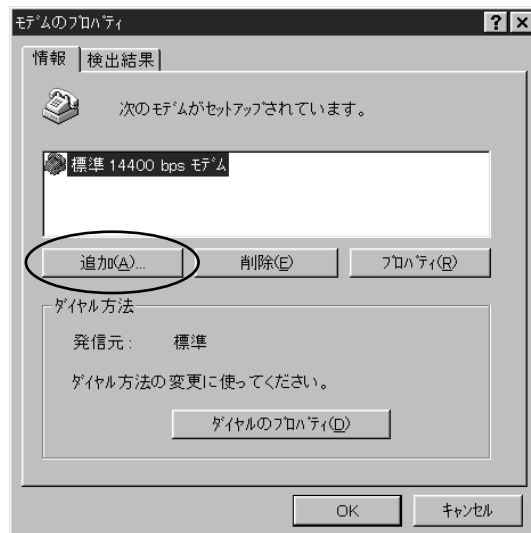
3 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。

4 [モデム] アイコンをダブルクリックする。



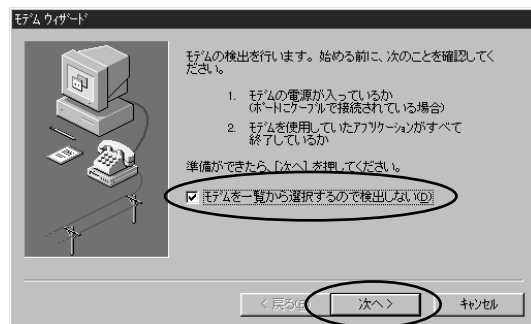
[モデムのプロパティ] 画面が表示されます。これまでモデムがセットアップされていなかったときなどは、[モデムのプロパティ] 画面が表示されずに [モデムウィザード] 画面が表示されますので、手順6へ進みます。

5 [追加] をクリックする。

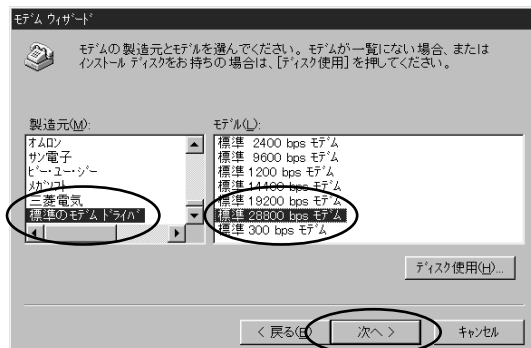


[モデムウィザード] 画面が表示されます。

6 [モデムを一覧から選択するので検出しない] をチェックして、[次へ>] をクリックする。



7 [製造元] から [標準のモデムドライバ] をクリックし、[モデル] から [標準28800bpsモデム] をクリックして [次へ>] をクリックする。



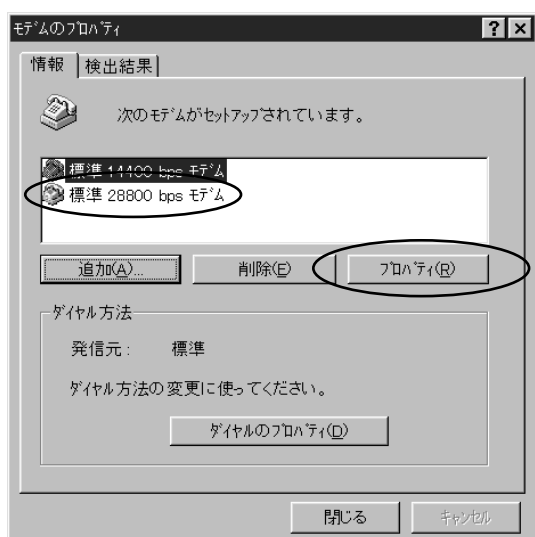
8 [モデムを接続するポート]の中から、本商品を接続しているポートをクリックし、[次へ>]をクリックする。



9 [完了]をクリックする。



10 [標準28800bpsモデム]をクリックし、[プロパティ]をクリックする。



11 [最高速度]で[115200]をクリックする。



12 [OK]をクリックする。

以上でパソコンの接続とモデム定義ファイルのインストールは完了です。「必要なソフトウェアをインストールするには」(P18)へ進みます。



ワンポイント

パソコンに正しく接続されたか確認するにはパソコンに通信ソフトウェアがインストールされている場合は、ATコマンドを入力して、パソコンと正しく接続できたか確認することができます。(P66)



お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。パソコンのRS-232Cポートが25ピンの場合、またはノートパソコンなどで特殊な形状のコネクタの場合は、変換コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。

必要なソフトウェアをインストールするには

インターネットへ接続するための準備として、P18～20では、次の場合の操作を説明します。
OSとしてWindows® 95を使用しているパソコンと本商品とを、RS-232Cポートで接続した場合

ダイヤルアップネットワークをインストールする

ダイヤルアップネットワークは、あらかじめインストールされている場合があります。すでにインストールされていることが確認できた場合は、操作を中止します。また、インストールの途中でWindows®のCD-ROMの挿入を求められたときは、画面の指示に従って操作してください。

1 [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする。



[ダイヤルアップネットワーク] フォルダが表示されたときは、すでにダイヤルアップネットワークがインストールされています。✕をクリックしてウィンドウを閉じ、「TCP/IPをインストールする」(●P20)に進んでください。

表示されなかったときは、手順2以降のインストール操作を行います。



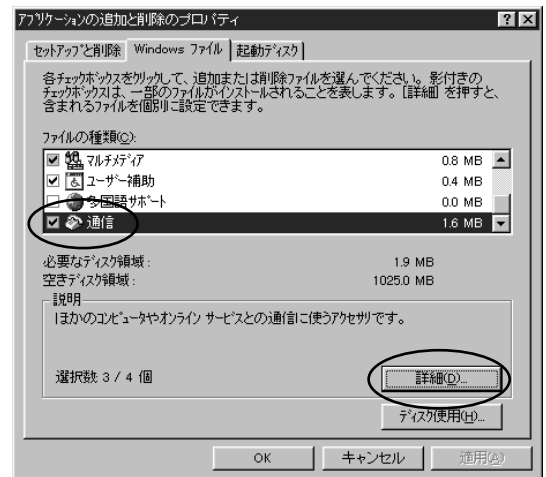
2 [コントロールパネル] アイコンをダブルクリックする。

3 [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックする。

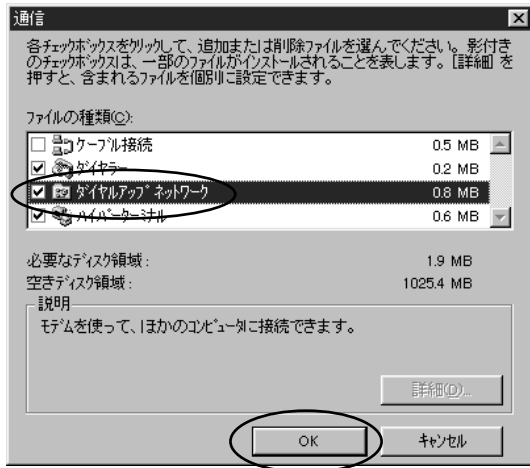


4 [Windowsファイル] タブをクリックする。

5 [ファイルの種類] から [通信] をチェックし、[詳細] をクリックする。



6 [ダイヤルアップネットワーク] をチェックし、 [OK] をクリックする。



7 [OK] をクリックする。

以上でインストールは完了です。「TPC/IPをインストールする」(●P20)へ進みます。
インストールしたダイヤルアップネットワークはWindows® 95を再起動すると有効になります。

TCP/IPをインストールする

TCP/IPは、あらかじめインストールされている場合があります。すでにインストールされていることが確認できた場合は、操作を中止します。また、インストールの途中でWindows®のCD-ROMの挿入を求められたときは、画面の指示に従って操作してください。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。

2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする。

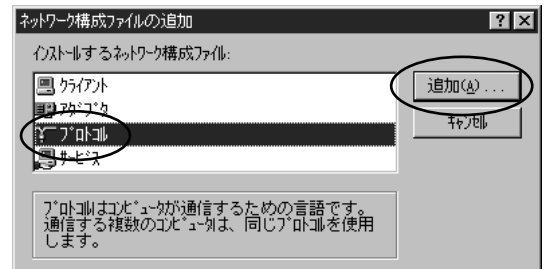


手順3の画面の [現在のネットワーク構成] の一覧に [TCP/IP] があるときは、すでにTCP/IPがインストールされています。[キャンセル] をクリックしてインストールを中止してください。

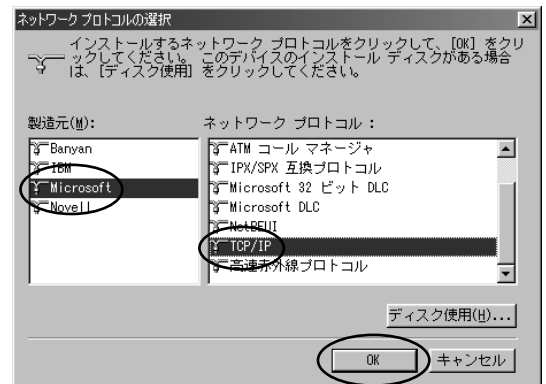
3 [追加] をクリックする。



4 [インストールするネットワーク構成ファイル] 中の [プロトコル] をクリックし、[追加] をクリックする。



5 [製造元] 中の [Microsoft] と [ネットワークプロトコル] 中の [TCP/IP] をクリックし、[OK] をクリックする。



6 [OK] をクリックする。

Windows® 95のCD-ROMを要求された場合は、画面の指示に従ってください。以上でインストールは完了です。「インターネットへ接続するには」(P21)へ進みます。インストールしたTCP/IPはWindows® 95を再起動すると有効になります。

お知らせ

ここではインストール方法の一例を紹介しています。詳細については、パソコンメーカー、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

インターネットへ接続するには

P21～24では、次の場合のインターネット接続までの手順を説明します。

OSとしてWindows® 95を使用しているパソコンをご使用の場合
プロバイダから通知されたユーザ名、パスワード、DNSのIPアドレス、アクセスポイント
などのメモを用意して設定を行ってください。

接続先の設定を行う

1 [マイコンピュータ]を開き、[ダイヤルアップネットワーク]をダブルクリックする。

2 [新しい接続]アイコンをダブルクリックする。
[ダイヤルアップネットワークへようこそ]が表示された場合は、[次へ>]をクリックしてから手順3へ進みます。

3 [接続名]に接続するプロバイダの名称などの、わかりやすい名前を入力する。

ここでは例として接続先の名前を「****」としています。

4 [モデムの選択]で[標準28800bpsモデム]をクリックし、[次へ>]をクリックする。



5 プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力し、[次へ>]をクリックする。

ここでは例として接続先の電話番号を「031234****」としています。

国番号.....プルダウンで[日本(81)]をクリック
市外局番...アクセスポイントの市外局番から先頭の「0」を除いた番号(例:「03」のときは「3」)

電話番号...アクセスポイントの電話番号
以下のように、利用する場合に応じて電話番号の後に「#XXXX」を入力します。
(注1)

・32Kを利用する場合...「#0101」

・64Kを利用する場合...「#0111」

【入力例】1234****#0101

注1: #以降の入力を省略した場合は、設定ユーティリティで設定した速度でアクセスポイントに接続します。(●P60)

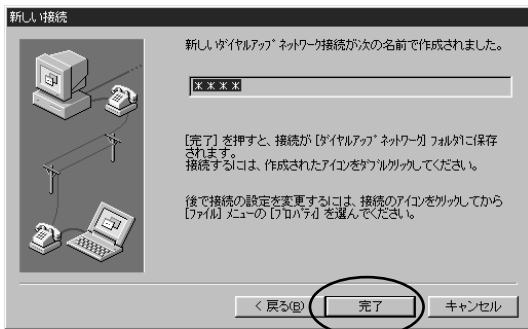
アクセスポイントの市外局番は、発信元と同じでも必ず入力してください。



インターネットへ接続するには

6 [完了] をクリックする。

[ダイヤルアップネットワーク] フォルダに、作成した接続のアイコン(****)が表示されます。

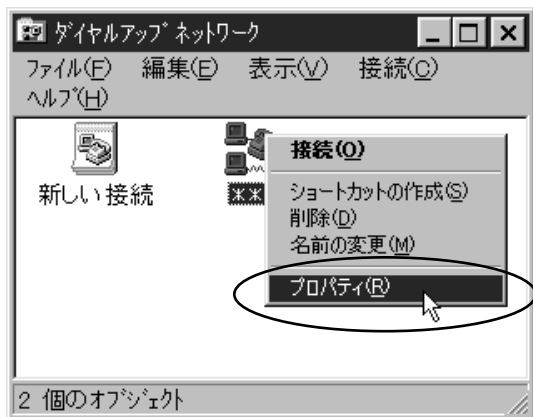


お知らせ

インターネットへの接続設定についての詳細は、各ソフトウェアメーカー、プロバイダにお問い合わせください。接続条件によっては、操作手順が異なる場合があります。

TCP/IPの設定を行う

- 1 「接続先の設定を行う」(P21)で作成したアイコンを右クリックし、ドロップダウンメニューの[プロパティ]をクリックする。



- 2 [サーバーの種類] タブをクリックし、[詳細オプション]と[使用できるネットワークプロトコル]を設定する。

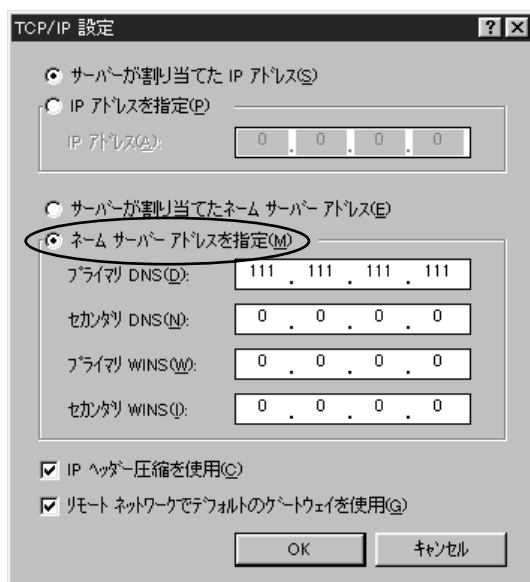


[詳細オプション]の各項目のチェックはすべて外してください。

[使用できるネットワークプロトコル]は[TCP/IP]のみチェックし、他のチェックは外してください。

- 3 [TCP/IP設定]をクリックする。

- 4 [ネームサーバーアドレスを指定]をクリックし、プロバイダから通知されたDNS(ドメイン・ネーム・システム)サーバのIPアドレスを[プライマリ DNS]に入力する。

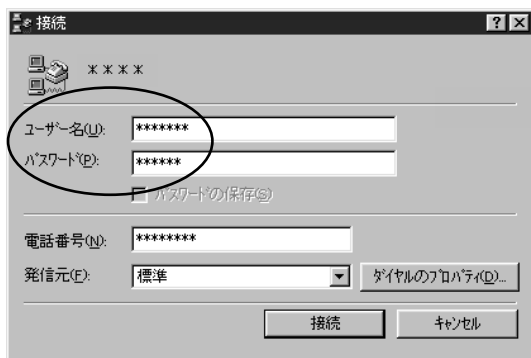


- 5 各画面で[OK]をクリックし、設定を完了する。

インターネットへ接続する

接続の設定が完了したら、実際に接続を行ってみましょう。

- 1 「接続先の設定を行う」(P21)で作成したアイコンをダブルクリックし、[ユーザー名]、[パスワード]を入力する。



- 2 [接続] をクリックする。
回線が接続されます。
- 3 WWWブラウザなどのアプリケーションソフトウェアを起動する。
操作は、アプリケーションソフトウェアの取扱説明書などを参照してください。
- 4 終了するときは、タスクバーの [ダイヤルアップネットワーク] アイコンをダブルクリックし、[切断] をクリックする。

お知らせ

同期PPPやV.110でなく、64kPIAFSでアクセスポイントに接続する場合は、必ず64kPIAFS対応のアクセスポイントに接続してください。64kPIAFS非対応のアクセスポイントへ誤って接続した場合、いったん接続したあとに切断されることがあります。その場合は通話料が加算されますのでご注意ください。

USBポートを使うには

P25～27では、次の場合の準備操作を説明します。

OSとしてWindows® 98 Second Editionを使用しているパソコンと本商品とを、USBポートで接続する場合

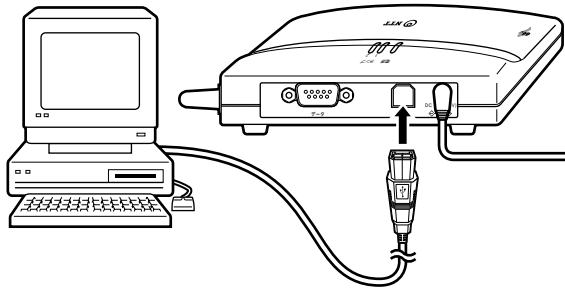
Windows® 98 Second Editionを使用しているパソコンと本商品とを、RS-232Cポートで接続する場合についてはP28をご覧ください。

Windows® 98には、Windows® 98とWindows® 98 Second Editionの2つのバージョンがあり、Windows® 98ではUSBポートはご利用になれません。RS-232Cポートをご利用ください。(●P28)

パソコンと本商品との接続から、ドライバをインストールするまでの作業を行います。付属品のワイヤレスパソコンアダプタRU専用フロッピーディスクをご用意ください。

パソコンと接続してUSBドライバとモデムドライバをインストールする

- 1 パソコンの電源を入れる。
- 2 本商品とパソコンをUSBケーブルで接続する。

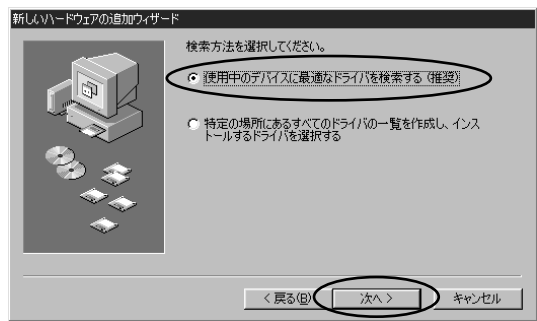


[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されます。

- 3 [次へ>]をクリックする。



- 4 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]をクリックし、[次へ>]をクリックする。



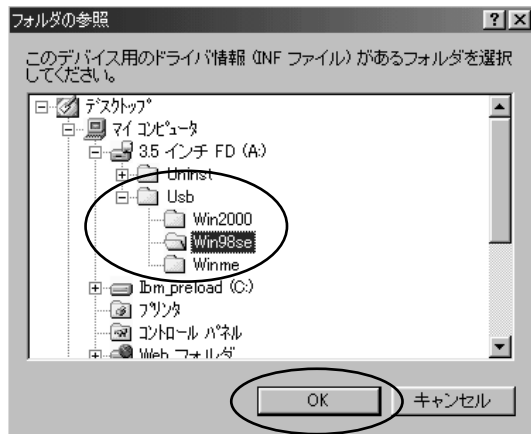
- 5 ワイヤレスパソコンアダプタRU専用フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットする。

- 6 [検索場所の指定]をチェックして[参照]をクリックする。



USBポートを使うには

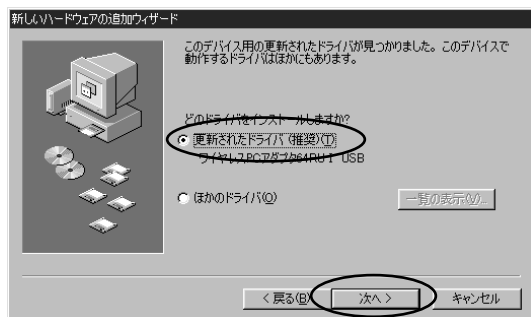
7 フロッピーディスクをセットしたドライブを指定し、[Usb] フォルダをダブルクリックして [Win98se] フォルダをクリックし、[OK] をクリックする。



8 [次へ >] をクリックする。



9 [更新されたドライバ (推奨)] をクリックし、[次へ >] をクリックする。



10 [W-PADP W-64RU1 USB] が表示されているのを確認し、[次へ >] をクリックする。



11 [完了] をクリックする。

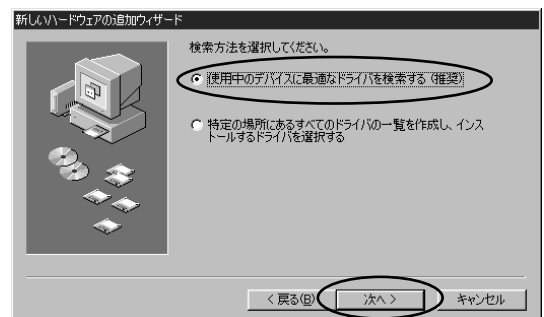


モデムのインストールが自動的に開始され、[新しいハードウェアの追加ウィザード] 画面が表示されます。

12 [次へ >] をクリックする。



13 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] をクリックし、[次へ >] をクリックする。



14 [次へ>] をクリックする。



15 [W-PADP W-64RU1 USB] と表示されていることを確認し、[次へ>] をクリックする。



16 [完了] をクリックする。



17 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。

ワンポイント

パソコンに正しく接続されたか確認するには、パソコンに通信ソフトウェアがインストールされている場合は、ATコマンドを入力して、パソコンと正しく接続できたか確認することができます。(P66)

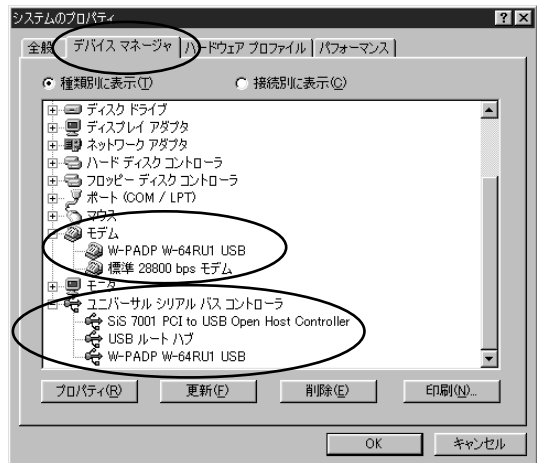
USBケーブルを接続してもパソコンが本商品を認識しないときは、USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。それでも正しく認識しない場合には、本商品やパソコンを再起動してください。

18 [システム] アイコンをダブルクリックする。



19 [デバイスマネージャ] タブをクリックし、次の内容が表示されていることを確認する。

[モデム] 内に [W-PADP W-64RU1 USB] [ユニバーサル シリアル バス コントローラ] に [W-PADP W-64RU1 USB]



[モデム] および [ユニバーサル シリアル バス コントローラ] の [W-PADP W-64RU1 USB] に①が表示されたときは、「USBポートに関するQ&A」(P73)をご覧ください。

20 [キャンセル] をクリックする。

以上でUSBドライバとモデムドライバのインストールは完了です。「必要なソフトウェアをインストールするには」(P30)へ進みます。

お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

3 Windows 98

USBポートを使うには

RS-232Cポートを使うには

P28～29では、次の場合の準備操作を説明します。

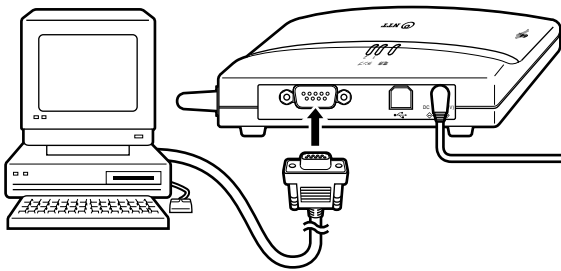
OSとしてWindows® 98またはWindows® 98 Second Editionを使用しているパソコンと本商品とを、RS-232Cポートで接続する場合

Windows® 98 Second Editionを使用しているパソコンと本商品とを、USBポートで接続する場合についてはP25をご覧ください。

パソコンと本商品との接続から、モデム定義ファイルをインストールするまでの作業を行います。

パソコンと接続してモデム定義ファイルをインストールする

1 本商品とパソコンをRS-232Cケーブルで接続する。



2 パソコンの電源を入れる。

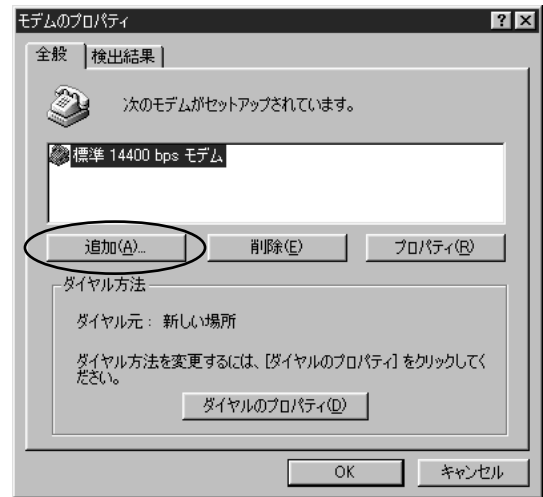
3 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。

4 [モデム] アイコンをダブルクリックする。



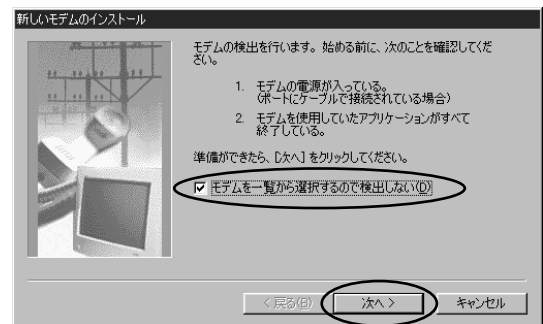
[モデムのプロパティ] 画面が表示されます。これまでモデムがセットアップされていなかったときなどは、[新しいモデムのインストール] 画面が表示されますので、手順6へ進みます。

5 [追加] をクリックする。

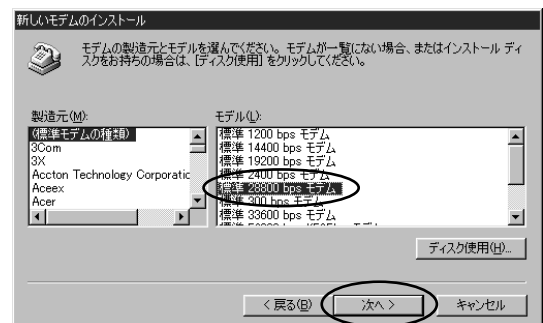


[新しいモデムのインストール] 画面が表示されます。

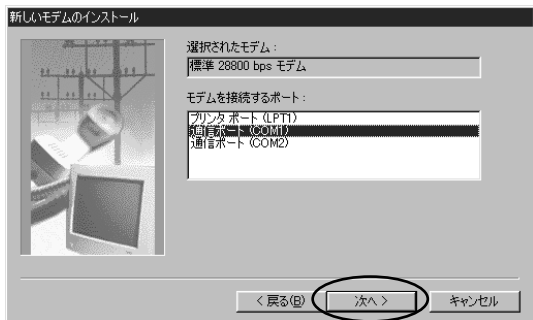
6 [モデムを一覧から選択するので検出しない] をチェックして、[次へ>] をクリックする。



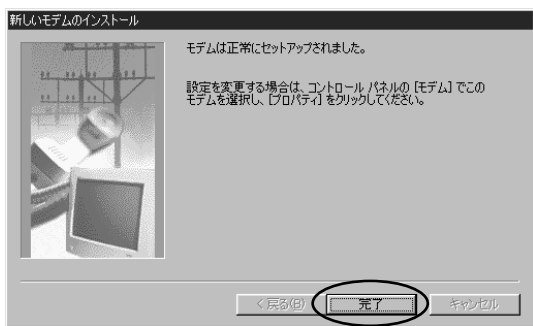
7 [モデル] 中の [標準28800bpsモデム] をクリックし、[次へ>] をクリックする。



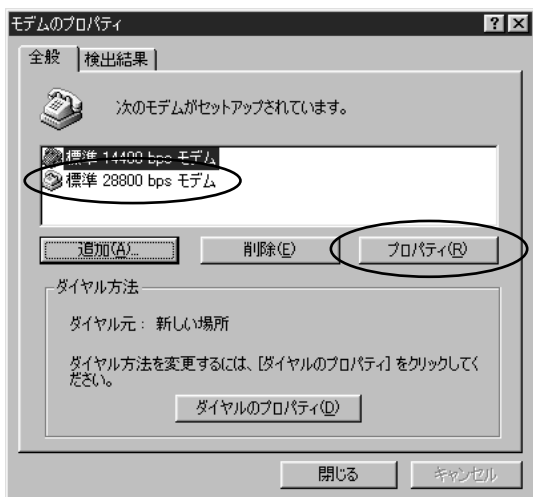
8 [モデムを接続するポート]の中から、本商品を接続しているポートをクリックし、[次へ>]をクリックする。



9 [完了]をクリックする。



10 [標準28800bpsモデム]をクリックし、[プロパティ]をクリックする。



11 [最高速度]で[115200]をクリックする。



12 [OK]をクリックする。

以上でパソコンの接続とモデム定義ファイルのインストールは完了です。「必要なソフトウェアをインストールするには」(●P30)へ進みます。

3
Windows
98
Function
98

RS-232Cポートを使用するには



ワンポイント

パソコンに正しく接続されたか確認するにはパソコンに通信ソフトウェアがインストールされている場合は、ATコマンドを入力して、パソコンと正しく接続できたか確認することができます。(●P66)



お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。パソコンのRS-232Cポートが25ピンの場合、またはノートパソコンなどで特殊な形状のコネクタの場合は、変換コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。

必要なソフトウェアをインストールするには

インターネットへ接続するための準備として、P30～33では、次のいずれかの場合の操作を説明します。

OSとしてWindows® 98 Second Editionを使用しているパソコンと本商品とを、USBポートで接続した場合

OSとしてWindows® 98またはWindows® 98 Second Editionを使用しているパソコンと本商品とを、RS-232Cポートで接続した場合

ダイヤルアップネットワークをインストールする

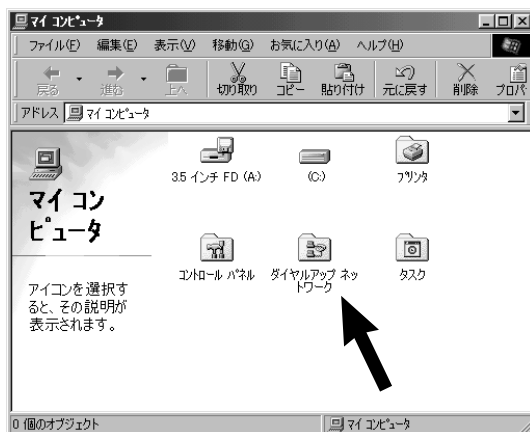
ダイヤルアップネットワークは、あらかじめインストールされている場合があります。すでにインストールされていることが確認できた場合は、操作を中止します。また、インストールの途中でWindows®のCD-ROMの挿入を求められたときは、画面の指示に従って操作してください。

1 [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする。



[ダイヤルアップネットワーク] フォルダが表示されたときは、すでにダイヤルアップネットワークがインストールされています。 をクリックしてウィンドウを閉じ、「TCP/IPをインストールする」(P32)に進んでください。

表示されなかったときは、手順2以降のインストール操作を行います。



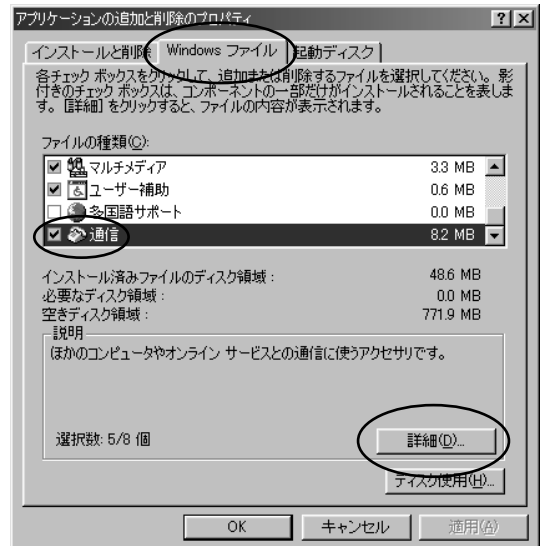
2 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。

3 [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックする。

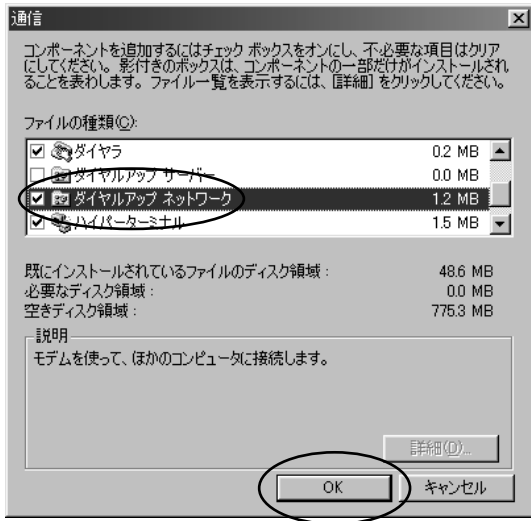


4 [Windowsファイル] タブをクリックする。

5 [ファイルの種類] から [通信] をチェックし、[詳細] をクリックする。



6 [ダイヤルアップネットワーク] をチェックし、
[OK] をクリックする。



7 [OK] をクリックする。

以上でインストールは完了です。「TPC/IPをインストールする」(●P32)へ進みます。
インストールしたダイヤルアップネットワークは
Windows® 98を再起動すると有効になります。

TCP/IPをインストールする

TCP/IPは、あらかじめインストールされている場合があります。すでにインストールされていることが確認できた場合は、操作を中止します。また、インストールの途中でWindows®のCD-ROMの挿入を求められたときは、画面の指示に従って操作してください。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。

2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする。

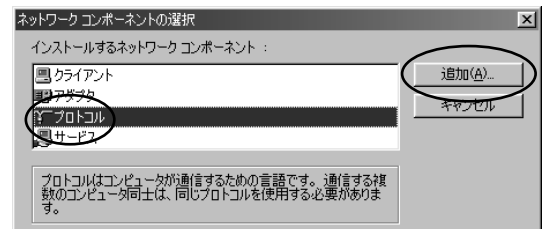


手順3の画面の [現在のネットワークコンポーネント] の一覧に [TCP/IP] があるときは、すでにTCP/IPがインストールされています。[キャンセル] をクリックしてインストールを中止してください。

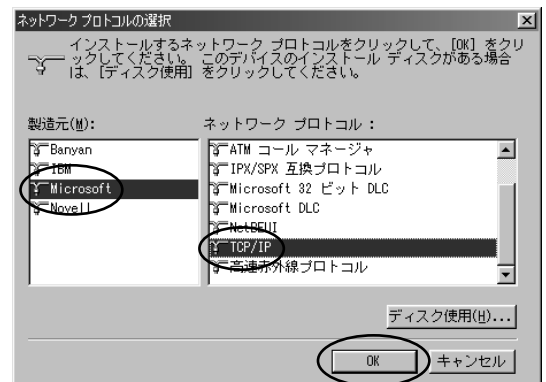
3 [追加] をクリックする。



4 [インストールするネットワークコンポーネント] の中の [プロトコル] をクリックし、[追加] をクリックする。



5 [製造元] 中の [Microsoft] と [ネットワークプロトコル] 中の [TCP/IP] をクリックし、[OK] をクリックする。



6 [OK] をクリックする。

Windows® 98のCD-ROMを要求された場合は、画面の指示に従ってください。

以上でインストールは完了です。「インターネットへ接続するには」(▶P34)へ進みます。

インストールしたTCP/IPはWindows® 98を再起動すると有効になります。



お知らせ

ここではインストール方法の一例を紹介しています。詳細については、パソコンメーカー、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

インターネットへ接続するには

P34～37では、次の場合のインターネット接続までの手順を説明します。

OSとしてWindows® 98またはWindows® 98 Second Editionを使用しているパソコンをご使用の場合

プロバイダから通知されたユーザ名、パスワード、DNSのIPアドレス、アクセスポイントなどのメモを用意して設定を行ってください。

接続先の設定を行う

1 [マイコンピュータ]を開き、[ダイヤルアップネットワーク]をダブルクリックする。

2 [新しい接続]アイコンをダブルクリックする。

3 [接続名]に接続するプロバイダの名称などの、わかりやすい名前を入力する。

ここでは例として接続先の名前を「****」としています。

4 [モデムの選択]で選択するモデムをクリックし、[次へ>]をクリックする。

USBポートで接続した場合...W-PADP W-64RU1
RS-232Cポートで接続した場合...標準28 800
bpsモデム



5 プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力し、[次へ>]をクリックする。

ここでは例として接続先の電話番号を「031234****」としています。

国番号.....プルダウンで[日本(81)]をクリック
市外局番...アクセスポイントの市外局番から先頭の「0」を除いた番号(例:「03」のときは「3」)

電話番号...アクセスポイントの電話番号

以下のように、利用する場合に応じて電話番号の後に「#XXXX」を入力します。

(注1)

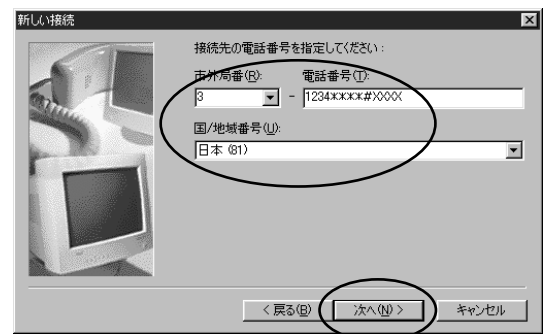
・32Kを利用する場合...「#0101」

・64Kを利用する場合...「#0111」

【入力例】1234****#0101

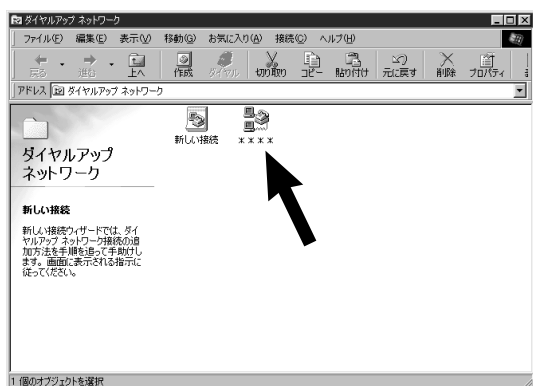
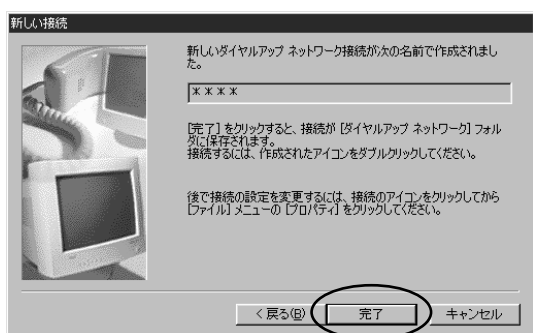
注1: #以降の入力を省略した場合は、設定ユーティリティで設定した速度でアクセスポイントに接続します。(P60)

アクセスポイントの市外局番は、発信元と同じでも必ず入力してください。



6 [完了] をクリックする。

[ダイヤルアップネットワーク] フォルダに、作成した接続のアイコン(****)が表示されます。



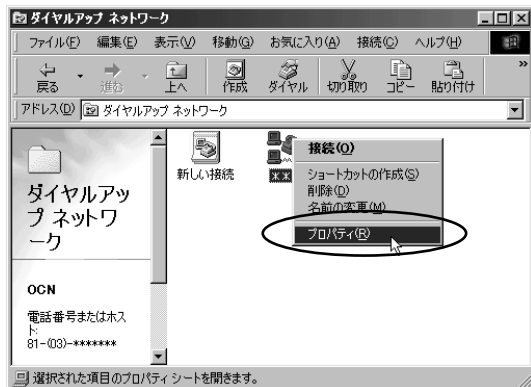
お知らせ

インターネットへの接続設定についての詳細は、各ソフトウェアメーカー、プロバイダにお問い合わせください。接続条件によっては、操作手順が異なる場合があります。

インターネットへ接続するには

TCP/IPの設定を行う

1 「接続先の設定を行う」(P34)で作成したアイコンを右クリックし、ドロップダウンメニューの[プロパティ]をクリックする。



2 [サーバーの種類] タブをクリックし、[詳細オプション]と[使用できるネットワークプロトコル]を設定する。

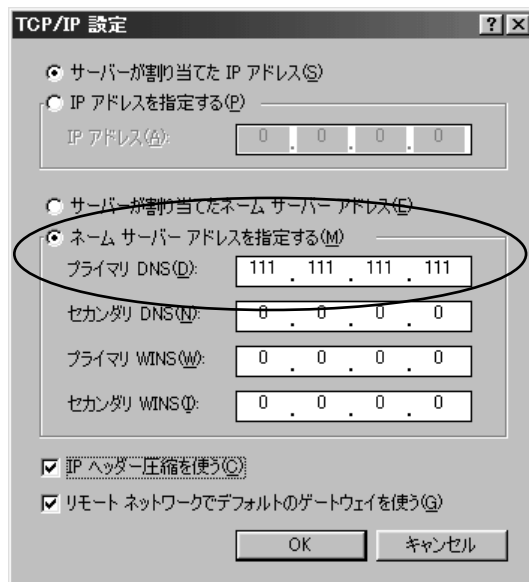


[詳細オプション]の各項目のチェックはすべて外してください。

[使用できるネットワークプロトコル]は[TCP/IP]のみチェックし、他のチェックは外してください。

3 [TCP/IP設定]をクリックする。

4 [ネームサーバーアドレスを指定する]をクリックし、プロバイダから通知されたDNS(ドメイン・ネーム・システム)サーバのIPアドレスを[プライマリDNS]に入力する。



5 各画面で[OK]をクリックし、設定を完了する。

インターネットへ接続する

接続の設定が完了したら、実際に接続を行ってみましょう。

- 1 「接続先の設定を行う」(P34)で作成したアイコンをダブルクリックし、[ユーザー名]、[パスワード]を入力する。



- 2 [接続] をクリックする。

回線が接続されます。

- 3 WWWブラウザなどのアプリケーションソフトウェアを起動する。

操作は、アプリケーションソフトウェアの取扱説明書などを参照してください。

- 4 終了するときは、[ダイヤルアップネットワーク]の[切断]をクリックする。

お知らせ

同期PPPやV.110でなく、64kPIAFSでアクセスポイントに接続する場合は、必ず64kPIAFS対応のアクセスポイントに接続してください。64kPIAFS非対応のアクセスポイントへ誤って接続した場合、いったん接続したあとに切断されることがあります。その場合は通話料が加算されますのでご注意ください。

USBポート通信中に、USBケーブルを抜かないでください。パソコンによっては、動作が不安定になったり、フリーズしたりすることがあります。

USBポート利用時には、パソコンのスタンバイ機能、サスペンド機能を使用しないでください。USBポートを利用することにより、パソコンのスタンバイ機能、サスペンド機能が働かない場合があります。

USBポートを使うには

P38～40では、次の場合の準備操作を説明します。

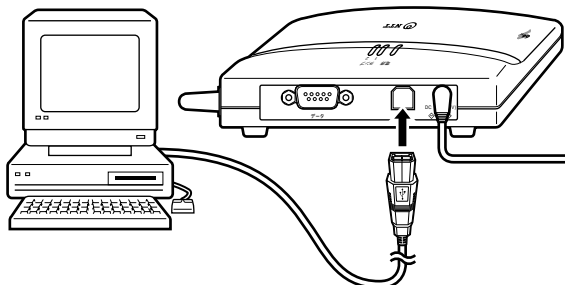
OSとしてWindows® Meを使用しているパソコンと本商品とを、USBポートで接続する場合

Windows® Meを使用しているパソコンと本商品とを、RS-232Cポートで接続する場合についてはP41をご覧ください。

パソコンと本商品との接続から、ドライバをインストールするまでの作業を行います。付属品のワイヤレスパソコンアダプタRU専用フロッピーディスクをご用意ください。

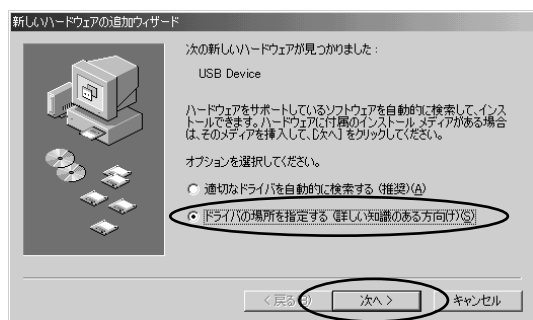
パソコンと接続してUSBドライバとモデムドライバをインストールする

- 1 パソコンの電源を入れる。
- 2 本商品とパソコンをUSBケーブルで接続する。



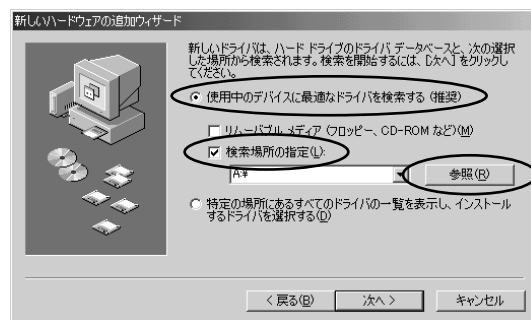
[新しいハードウェアの追加ウィザード] 画面が表示されます。

- 3 [ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)] をクリックし、[次へ>] をクリックする。

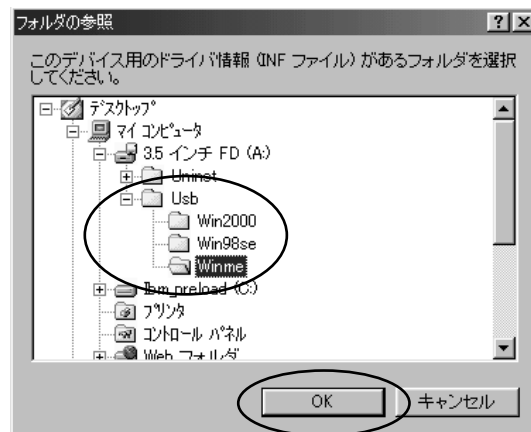


- 4 ワイヤレスパソコンアダプタRU専用フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットする。

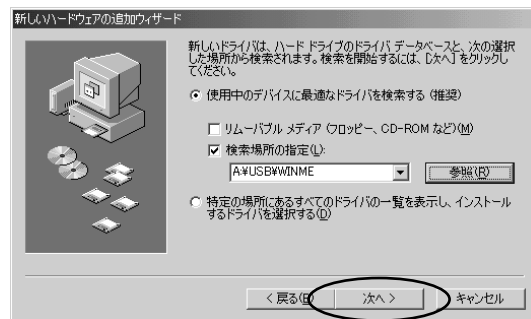
- 5 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] をクリックし、[検索場所の指定] をチェックして [参照] をクリックする。



- 6 フロッピーディスクをセットしたドライブを指定し、[Usb] フォルダをダブルクリックして [Winme] フォルダをクリックし、[OK] をクリックする。



- 7 [次へ>] をクリックする。



8 [W-PADP W-64RU1 USB]が表示されているのを確認し、[次へ>]をクリックする。

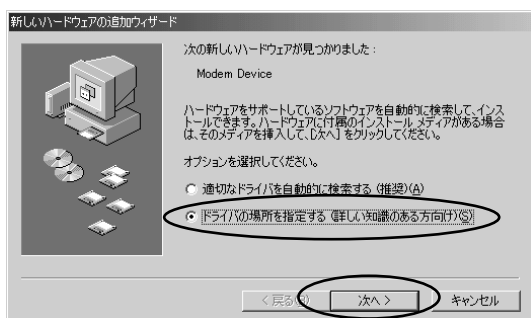


9 [完了]をクリックする。

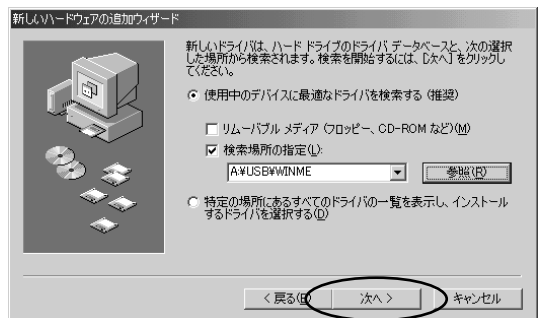


モデムのインストールが自動的に開始され、[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されます。

10 [ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)]をクリックし、[次へ>]をクリックする。



11 [次へ>]をクリックする。



12 [W-PADP W-64RU1 USB]が表示されているのを確認し、[次へ>]をクリックする。



13 [完了]をクリックする。



USBポートを使うには

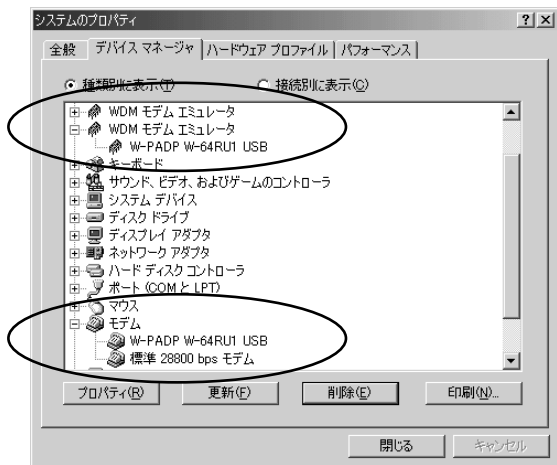
14 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。

15 [システム] アイコンをダブルクリックする。



16 [デバイスマネージャ] タブをクリックし、次の内容が表示されていることを確認する。

[モデム] 内に [W-PADP W-64RU1 USB]
[WDM モデム エミュレータ] に [W-PADP W-64RU1 USB]



[モデム] および [WDM モデム エミュレータ] の [W-PADP W-64RU1 USB] に①が表示されたときは、「USBポートに関するQ&A」(P73)をご覧ください。

17 [キャンセル] をクリックする。

以上でUSBドライバとモデムドライバのインストールは完了です。「インターネットへ接続するには」(P43)へ進みます。



ワンポイント

パソコンに正しく接続されたか確認するには
パソコンに通信ソフトウェアがインストールされている場合は、ATコマンドを入力して、パソコンと正しく接続できたか確認することができます。(P66)

USBケーブルを接続してもパソコンが本商品を認識しないときは
USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。
それでも正しく認識しない場合には、本商品やパソコンを再起動してください。



お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

RS-232Cポートを使うには

P41～42では、次の場合の準備操作を説明します。

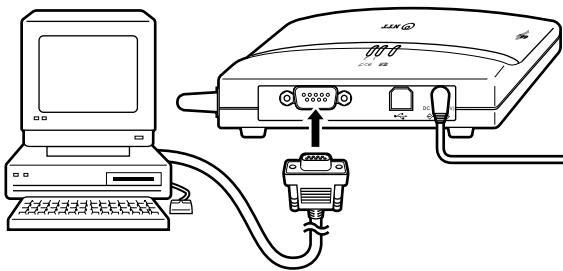
OSとしてWindows® Meを使用しているパソコンと本商品とを、RS-232Cポートで接続する場合

Windows® Meを使用しているパソコンと本商品とを、USBポートで接続する場合についてはP38をご覧ください。

パソコンと本商品との接続から、モデム定義ファイルをインストールするまでの作業を行います。

パソコンと接続してモデム定義ファイルをインストールする

1 本商品とパソコンをRS-232Cケーブルで接続する。



2 パソコンの電源を入れる。

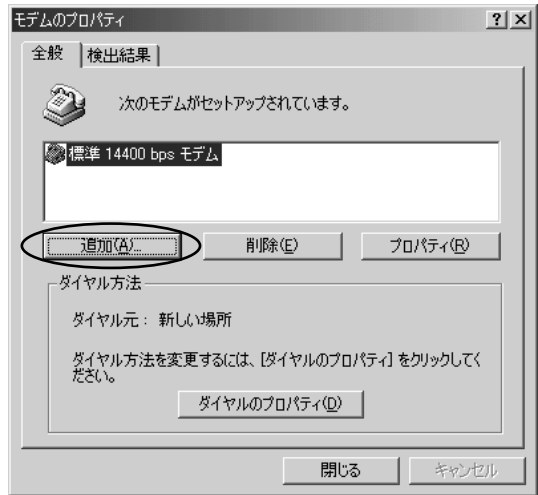
3 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。

4 [モデム] アイコンをダブルクリックする。



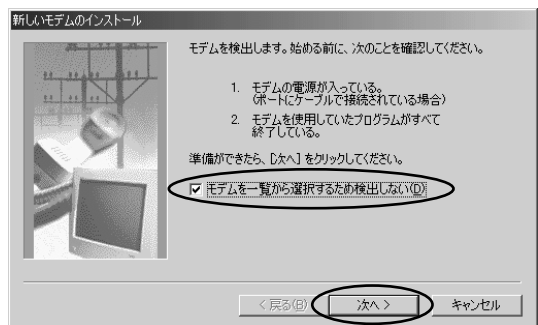
[モデムのプロパティ] 画面が表示されます。これまでモデムがセットアップされていなかったときなどは、[新しいモデムのインストール] 画面が表示されますので、手順6へ進みます。

5 [追加] をクリックする。

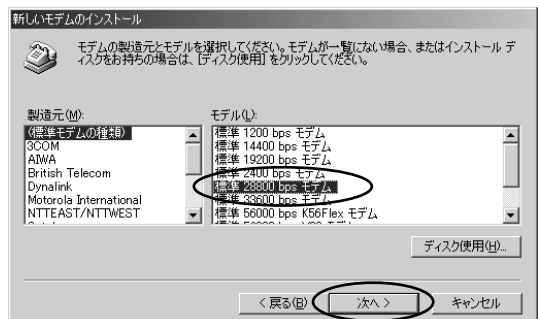


[新しいモデムのインストール] 画面が表示されます。

6 [モデムを一覧から選択するため検出しない] をチェックして、[次へ>] をクリックする。



7 [モデル] 中の [標準28800bpsモデム] をクリックし、[次へ>] をクリックする。

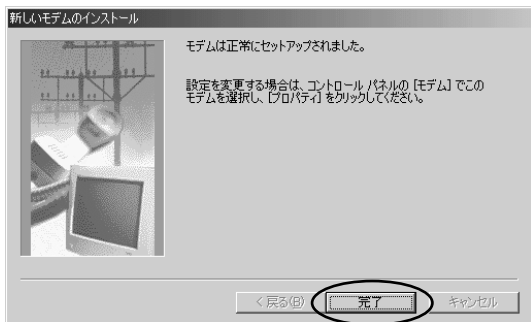


(次ページへつづく)

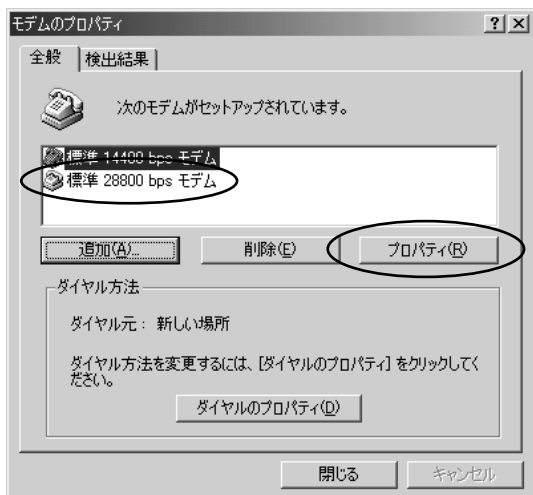
8 [モデムを接続するポート]の中から、本商品を接続したポートをクリックし、[次へ>]をクリックする。



9 [完了]をクリックする。



10 [標準28800bpsモデム]をクリックし、[プロパティ]をクリックする。



11 [最高速度]で[115200]をクリックする。



12 [OK]をクリックする。

以上でパソコンの接続とモデム定義ファイルのインストールは完了です。「インターネットへ接続するには」(P43)へ進みます。



ワンポイント

パソコンに正しく接続されたか確認するにはパソコンに通信ソフトウェアがインストールされている場合は、ATコマンドを入力して、パソコンと正しく接続できたか確認することができます。(P66)



お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。
パソコンのRS-232Cポートが25ピンの場合、またはノートパソコンなどで特殊な形状のコネクタの場合は、変換コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。

インターネットへ接続するには

P43～46では、次の場合のインターネット接続までの手順を説明します。

OSとしてWindows® Meを使用しているパソコンをご使用の場合
プロバイダから通知されたユーザ名、パスワード、DNSのIPアドレス、アクセスポイント
などのメモを用意して設定を行ってください。

接続先の設定を行う

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする。

2 [新しい接続] アイコンをダブルクリックする。

3 「接続名」に接続するプロバイダの名称などの、わかりやすい名前を入力する。

ここでは例として接続先の名前を「****」としています。

4 「モデムの選択」で選択するモデムをクリックし、[次へ>] をクリックする。

USBポートで接続した場合...W-PADP W64RU1
RS-232Cポートで接続した場合...標準28 800
bpsモデム



5 プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力し、[次へ>] をクリックする。

ここでは例として接続先の電話番号を「031234****」としています。

国番号.....プルダウンで[日本(81)]をクリック
市外局番...アクセスポイントの市外局番から先頭の「0」を除いた番号(例:「03」のときは「3」)

電話番号...アクセスポイントの電話番号
以下のように、利用の場合に応じて電話番号の後に「#XXXX」を入力します。
(注1)

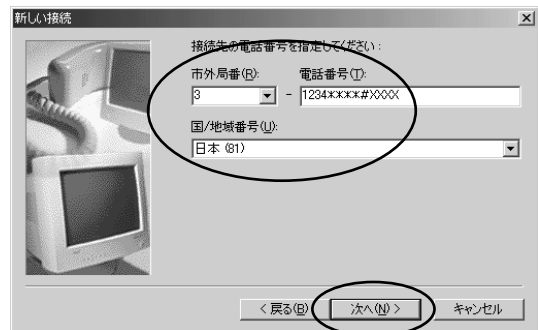
・32Kを利用する場合...「#0101」

・64Kを利用する場合...「#0111」

【入力例】1234****#0101

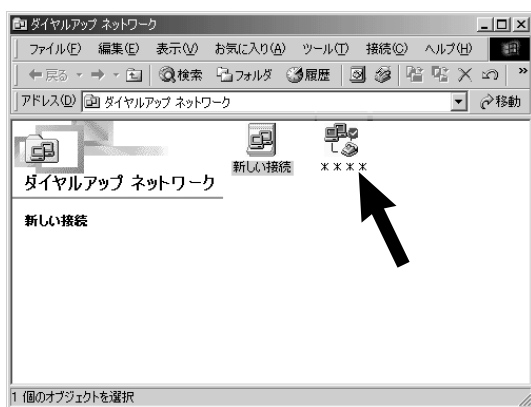
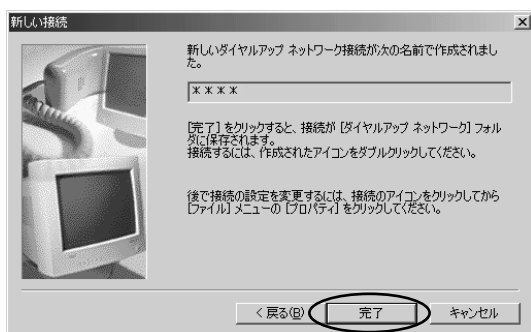
注1: #以降の入力を省略した場合は、設定ユーティリティで設定した速度でアクセスポイントに接続します。(P60)

アクセスポイントの市外局番は、発信元と同じでも必ず入力してください。



6 [完了] をクリックする。

[ダイヤルアップネットワーク] フォルダに、作成した接続のアイコン(****)が表示されます。

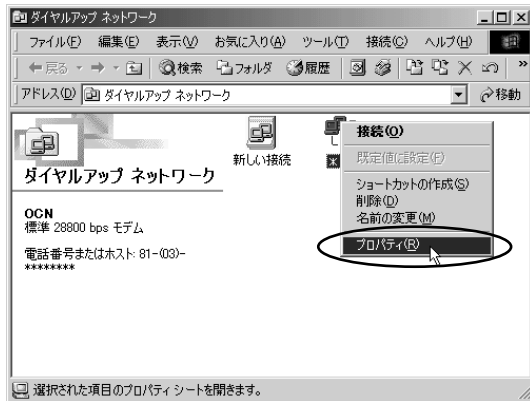


お知らせ

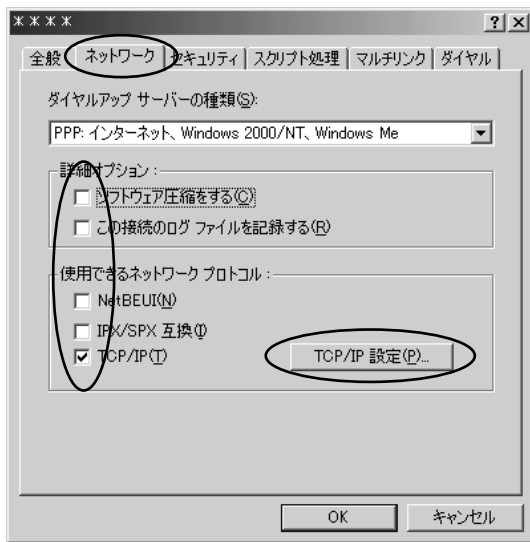
インターネットへの接続設定についての詳細は、各ソフトウェアメーカー、プロバイダにお問い合わせください。
接続条件によっては、操作手順が異なる場合があります。

TCP/IPの設定を行う

- 1 「接続先の設定を行う」(P43)で作成したアイコンを右クリックし、ドロップダウンメニューの[プロパティ]をクリックする。



- 2 [ネットワーク] タブをクリックし、[詳細オプション]と[使用できるネットワークプロトコル]を設定する。

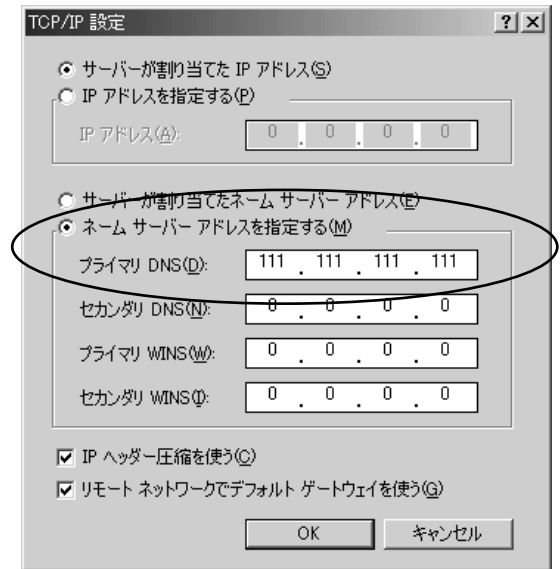


[詳細オプション] の各項目のチェックはすべて外してください。

[使用できるネットワークプロトコル] は [TCP/IP] のみチェックし、他のチェックは外してください。

- 3 [TCP/IP設定] をクリックする。

- 4 [ネームサーバーアドレスを指定する] をクリックし、プロバイダから通知されたDNS (ドメイン・ネーム・システム) サーバのIPアドレスを [プライマリ DNS] に入力する。

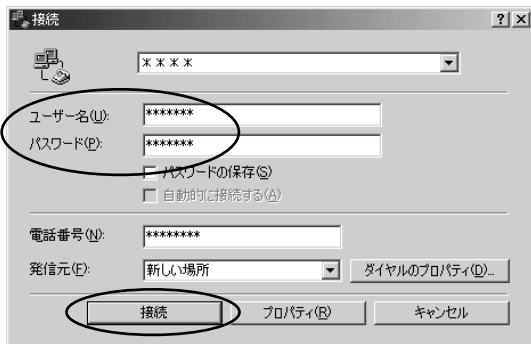


- 5 各画面で [OK] をクリックし、設定を完了する。

インターネットへ接続する

接続の設定が完了したら、実際に接続を行ってみましょう。

- 1 「接続先の設定を行う」(P43)で作成したアイコンをダブルクリックし、[ユーザー名]、[パスワード]を入力する。



- 2 [接続] をクリックする。

回線が接続されます。

- 3 WWWブラウザなどのアプリケーションソフトウェアを起動する。

操作は、アプリケーションソフトウェアの取扱説明書などを参照してください。

- 4 終了するときは、[ダイヤルアップネットワーク]の[切断]をクリックする。

お知らせ

同期PPPやV.110でなく、64kPIAFSでアクセスポイントに接続する場合は、必ず64kPIAFS対応のアクセスポイントに接続してください。64kPIAFS非対応のアクセスポイントへ誤って接続した場合、いったん接続したあとに切断されることがあります。その場合は通話料が加算されますのでご注意ください。

USBポート通信中に、USBケーブルを抜かないでください。パソコンによっては、動作が不安定になったり、フリーズしたりすることがあります。

USBポート利用時には、パソコンのスタンバイ機能、サスペンド機能を使用しないでください。USBポートを利用することにより、パソコンのスタンバイ機能、サスペンド機能が働かない場合があります。

USBポートを使うには

P47～49では、次の場合の準備操作を説明します。

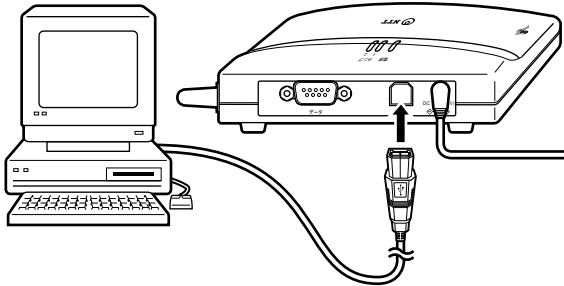
OSとしてWindows® 2000を使用しているパソコンと本商品とを、USBポートで接続する場合

Windows® 2000を使用しているパソコンと本商品とを、RS-232Cポートで接続する場合についてはP50をご覧ください。

パソコンと本商品との接続から、ドライバをインストールするまでの作業を行います。付属品のワイヤレスパソコンアダプタRU専用フロッピーディスクをご用意ください。

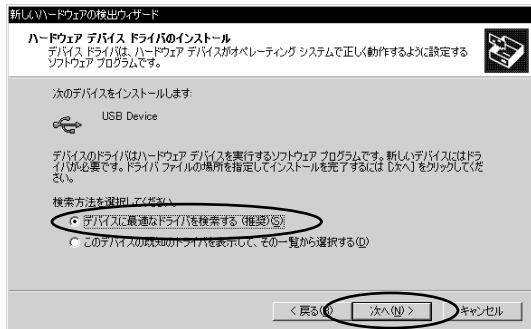
パソコンと接続して モデムドライバをインストールする

- 1 パソコンの電源を入れる。
- 2 本商品とパソコンをUSBケーブルで接続する。

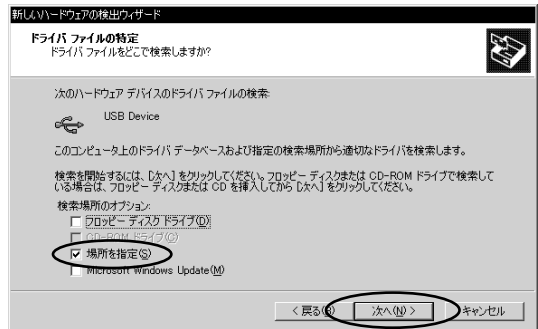


[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。

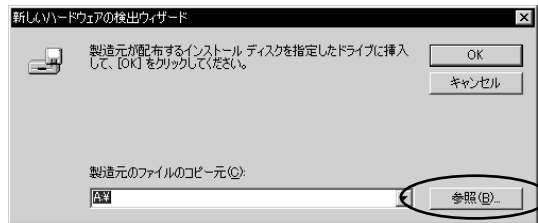
- 3 [デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] をクリックし、[次へ>] をクリックする。



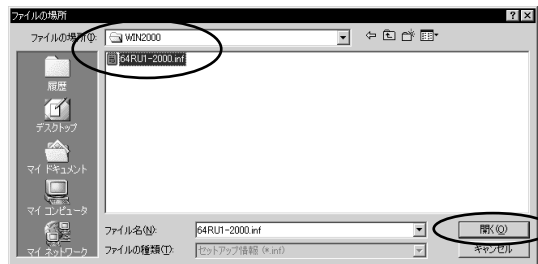
- 4 [場所を指定] をチェックし、[次へ>] をクリックする。



- 5 ワイヤレスパソコンアダプタRU専用フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、フロッピーディスクをセットしたドライブを指定して [参照] をクリックする。

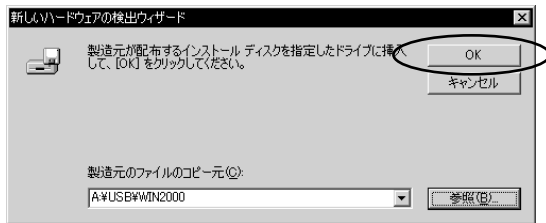


- 6 [USB] フォルダをダブルクリックし、[WIN2000] フォルダをダブルクリックして、[64RU1-2000.inf] をクリックし、[開く] をクリックする。



USBポートを使うには

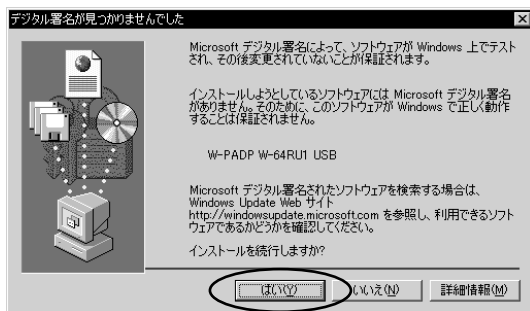
7 [OK] をクリックする。



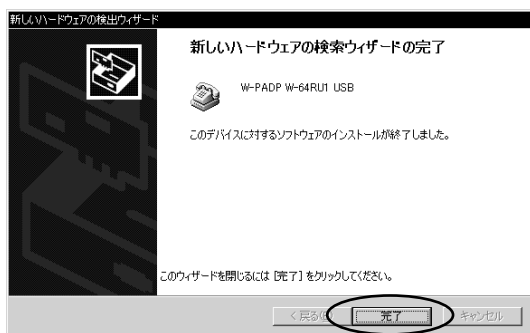
8 [次へ>] をクリックする。



9 [W-PADP W-64RU1 USB] が表示されていることを確認し、[はい] をクリックする。



10 [完了] をクリックする。

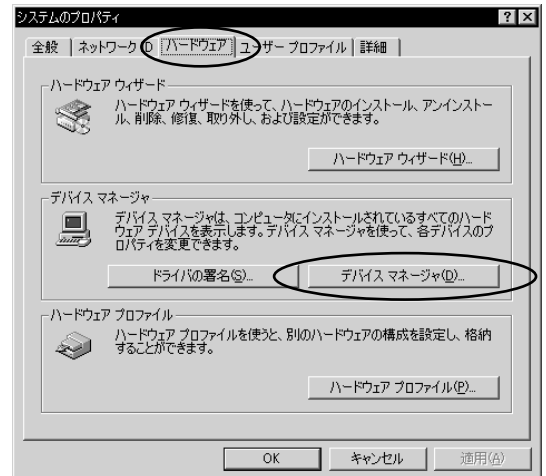


11 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。

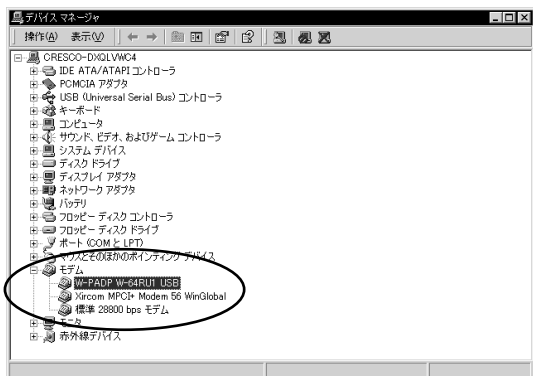
12 [システム] アイコンをダブルクリックする。



13 [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイス マネージャ] をクリックする。



14 [モデム]の[+]をクリックし、[W-PADP W-64RU1 USB]が表示されていることを確認する。



[モデム]の[W-PADP W-64RU1 USB]に①が表示されたときは、「USBポートに関するQ&A」(●P73)をご覧ください。

15 各画面で[X]をクリックする。

以上でモデムドライバのインストールは完了です。「インターネットへ接続するには」(●P53)へ進みます。



ワンポイント

パソコンに正しく接続されたか確認するにはパソコンに通信ソフトウェアがインストールされている場合は、ATコマンドを入力して、パソコンと正しく接続できたか確認することができます。(●P66)

USBケーブルを接続してもパソコンが本商品を認識しないときは

USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。それでも正しく認識しない場合には、本商品やパソコンを再起動してください。



お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

RS-232Cポートを使うには

P50～52では、次の場合の準備操作を説明します。

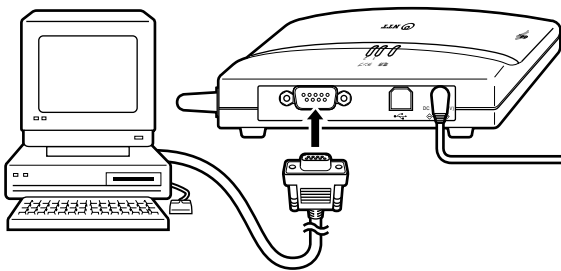
OSとしてWindows® 2000を使用しているパソコンと本商品とを、RS-232Cポートで接続する場合

Windows® 2000を使用しているパソコンと本商品とを、USBポートで接続する場合についてはP47をご覧ください。

パソコンと本商品との接続から、モデム定義ファイルをインストールするまでの作業を行います。

パソコンと接続してモデム定義ファイルをインストールする

1 本商品とパソコンをRS-232Cケーブルで接続する。



2 パソコンの電源を入れる。

3 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。

4 [電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリックする。

[所在地情報] が表示された場合は、[市外局番 / エリアコード] に市外局番を入力し、[OK] をクリックします。



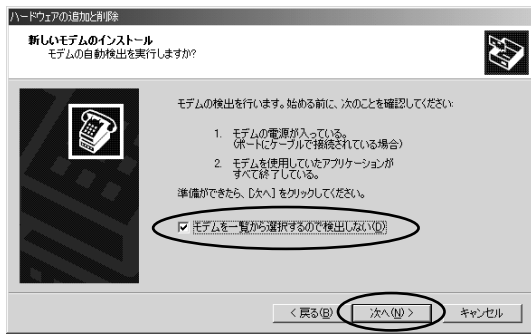
5 [モデム] タブをクリックする。



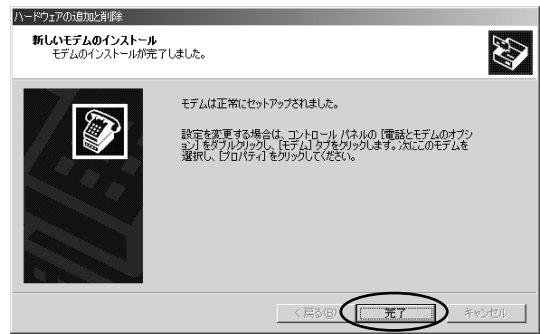
6 [追加] をクリックする。



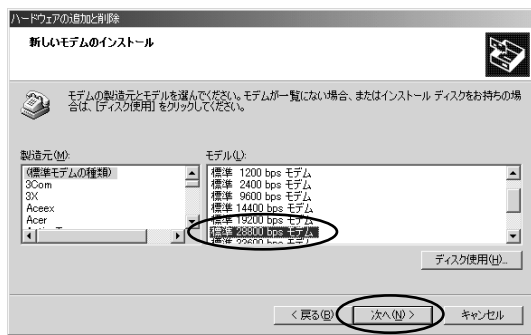
7 [モデムを一覧から選択するので検出しない] をチェックして [次へ>] をクリックする。



10 [完了] をクリックする。



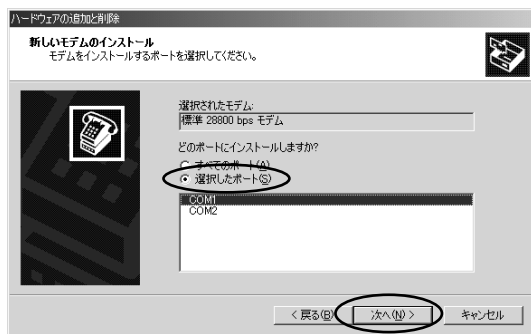
8 [モデル] の中の [標準28800bpsモデム] をクリックし、[次へ>] をクリックする。



11 [標準28800bpsモデム] をクリックし、[プロパティ] をクリックする。



9 [選択したポート] をクリックし、本商品を接続したポートを選択して [次へ>] をクリックする。



5
Windows®

RS-232Cポートを使用するには

(次ページへつづく)

12 [最高速度] で [115200] をクリックする。



13 [OK] をクリックする。

以上でパソコンの接続とモデム定義ファイルのインストールは完了です。「インターネットへ接続するには」(●P53)へ進みます。



ワンポイント

パソコンに正しく接続されたか確認するにはパソコンに通信ソフトウェアがインストールされている場合は、ATコマンドを入力して、パソコンと正しく接続できたか確認することができます。(●P66)



お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

パソコンのRS-232Cポートが25ピンの場合、またはノートパソコンなどで特殊な形状のコネクタの場合は、変換コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。

インターネットへ接続するには

P53～57では、次の場合のインターネット接続までの手順を説明します。

OSとしてWindows® 2000を使用しているパソコンをご使用の場合
プロバイダから通知されたユーザ名、パスワード、DNSのIPアドレス、アクセスポイント
などのメモを用意して設定を行ってください。

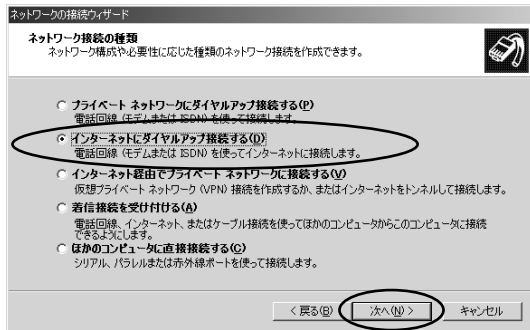
接続先の設定を行う

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [ネットワークとダイヤルアップ接続] - [新しい接続の作成] をクリックする。

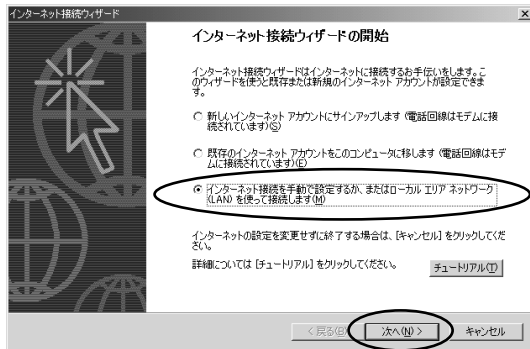
[ネットワークの接続ウィザード] 画面が表示されます。

- 2 [次へ>] をクリックする。

- 3 [インターネットにダイヤルアップ接続する] をクリックし、[次へ>] をクリックする。



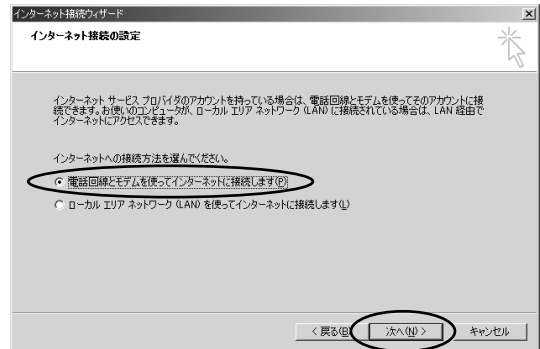
- 4 [インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します] をクリックし、[次へ>] をクリックする。



- 5 [電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します] をクリックし、[次へ>] をクリックする。

[モデムの選択] 画面が表示されたときは、選択するモデムをクリックし、[次へ>] をクリックして、手順6に進みます。

USBポートで接続した場合...W-PADP W-64RU1 RS-232Cポートで接続した場合...標準28 800 bpsモデム



インターネットへ接続するには

6 プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力し、[次へ>]をクリックする。

ここでは例として接続先の電話番号を「031234****」としています。

国番号...プルダウンで「日本(81)」をクリック
市外局番...アクセスポイントの市外局番から先頭の「0」を除いた番号(例:「03」のときは3)

電話番号...アクセスポイントの電話番号

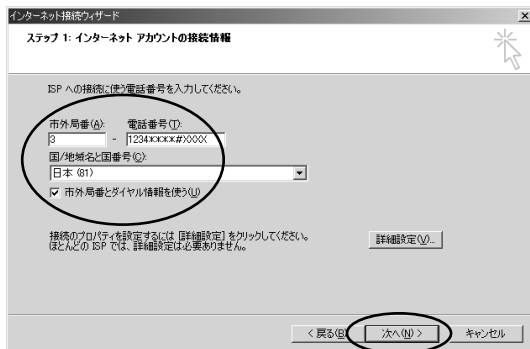
以下のように、利用する場合に応じて電話番号の後に「#XXXX」を入力します。
(注1)

- ・32Kを利用する場合...「#0101」
- ・64Kを利用する場合...「#0111」

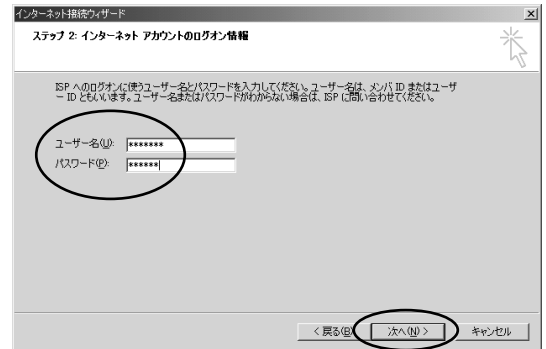
【入力例】1234****#0101

注1: #以降の入力を省略した場合は、設定ユーティリティで設定した速度でアクセスポイントに接続します。(P60)

アクセスポイントの市外局番は、発信元と同じでも必ず入力してください。

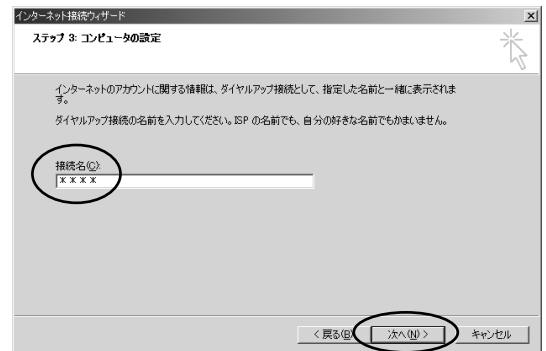


7 ユーザ名とパスワードを入力し、[次へ>]をクリックする。



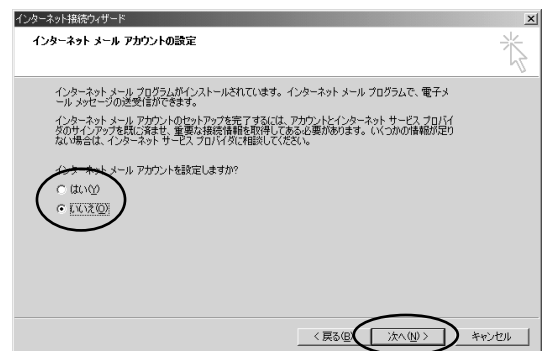
8 [接続名]に接続するプロバイダの名称などの、わかりやすい名前を入力し、[次へ>]をクリックする。

ここでは例として接続先の名前を「****」としています。



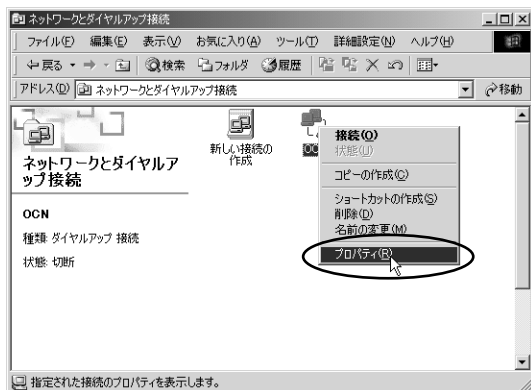
9 [いいえ]をクリックし、[次へ>]をクリックする。

必要に応じて[はい]をチェックしてインターネットメールアカウントを設定してください。

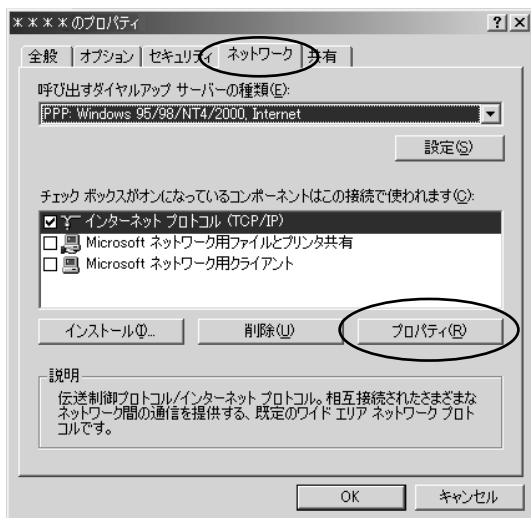


TCP/IPの設定を行う

- 1 「接続先の設定を行う」(P53)で作成したアイコンを右クリックし、ドロップダウンメニューの[プロパティ]をクリックする。

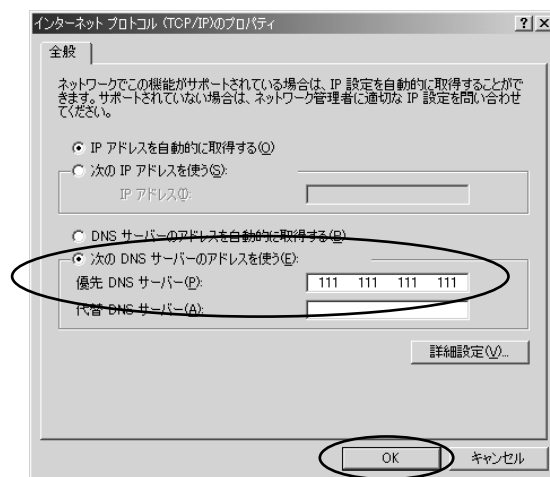


- 2 [ネットワーク] タブをクリックし、[プロパティ]をクリックする。



- 3 [次のDNSサーバーのアドレスを使う]をクリックし、プロバイダから通知されたDNS(ドメイン・ネーム・システム)サーバーのIPアドレスを[優先DNSサーバー]に入力する。

プロバイダからDNSサーバーのアドレスを指定されていない場合は、空白のままにしてください。



- 4 各画面で[OK]をクリックし、設定を完了する。

設定ユーティリティをインストールするには

設定ユーティリティを使うと、通信ポートの選択や通信速度の変更などが簡単に行えます。
設定ユーティリティは、付属品のワイヤレスパソコンアダプタRU専用フロッピーディスクに格納されています。

- 1 起動中のアプリケーションをすべて終了する。
- 2 ワイヤレスパソコンアダプタRU専用フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットする。
- 3 [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、フロッピーディスクドライブアイコンをダブルクリックする。
- 4 [ADPsetup] をダブルクリックする。



設定ユーティリティが起動します。(▶P59)

設定ユーティリティを使って設定を行うには

設定ユーティリティを使うと、次の3つの設定が簡単に行えます。また、設定内容は、設定ユーティリティ終了後や本商品の電源を入れ直した後も保存されます。

機能名	機能説明	設定値	参照ページ	
通信ポート設定	使用する通信ポートを選択する。 設定ユーティリティを初めて起動するときに、必ず設定する。	COM1(初期値)	●下欄	
機能設定	通信速度設定	ワイヤレスパソコンアダプタRUでPIAFS通信を行うときの通信速度を変更する。	32 Kbps (初期値) 64 Kbps	●P60
	フォールバック機能	コードレス電話機使用中などで64kPIAFSで発信できない場合に、自動的に32kPIAFSで発信し直すフォールバック機能のON/OFFを切り替える。	ON(初期値) OFF	●P61

設定ユーティリティを起動するときは、他のアプリケーションをすべて終了してください。

通信ポート設定を行う

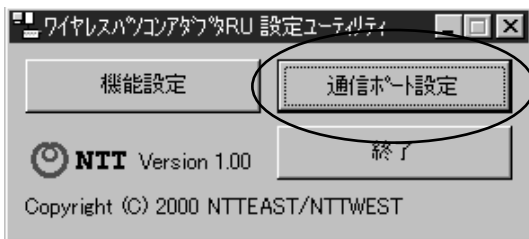
4 [終了]をクリックする。

設定ユーティリティを初めて起動するときは、他のアプリケーションをすべて終了し、必ず以下の設定を行ってください。

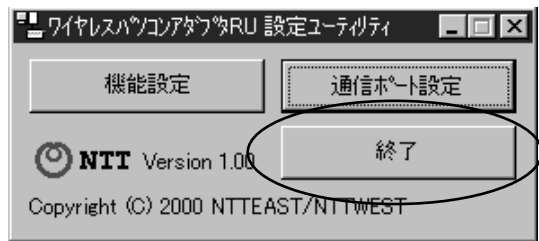
- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム]-[ワイヤレスパソコンアダプタRU設定ユーティリティ]をクリックする。

設定ユーティリティが起動し、メイン画面が表示されます。

- 2 [通信ポート設定] をクリックする。



- 3 [通信ポート] の▼をクリックし、一覧から使用する通信ポートを選択し、[設定] をクリックする。



設定ユーティリティを使って設定を行うには
設定ユーティリティをインストールするには

通信速度の設定を変更する

本商品の通信速度は、お買い求め時は32 Kbpsに設定されています。64 Kbpsでデータ通信を行うときは、設定を変更してください。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム]-[ワイヤレスパソコンアダプタRU設定ユーティリティ]をクリックする。

設定ユーティリティが起動し、メイン画面が表示されます。

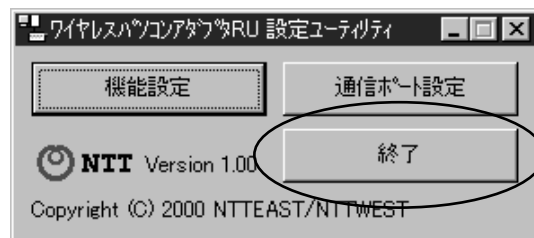
- 2 [機能設定] をクリックする。



- 3 [通信速度設定] の [32 Kbps] または [64 Kbps] をクリックし、[設定] をクリックする。



- 4 [終了] をクリックする。



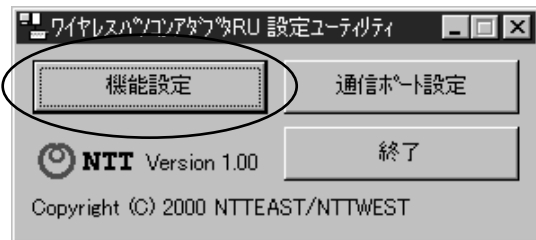
フォールバック機能をON/OFFする

お買い求め時はフォールバック機能「ON」に設定されています。フォールバックが行われないようにする場合には「OFF」に設定してください。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム]-[ワイヤレスパソコンアダプタRU設定ユーティリティ]をクリックする。

設定ユーティリティが起動し、メイン画面が表示されます。

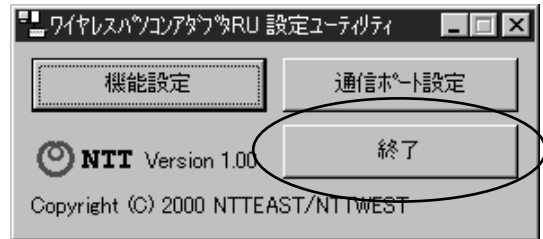
- 2 [機能設定] をクリックする。



- 3 [フォールバック機能] の [ON] または [OFF] をクリックし、[設定] をクリックする。



- 4 [終了] をクリックする。



お知らせ

通信ポート設定 (P59) で、本商品が接続されている通信ポートが正しく設定されていないと、通信速度やフォールバック機能の設定が行えません。

発信時のダイヤルに速度指定の発サブアドレス「#xxxx」が付加されていた場合は、通信速度の設定内容にかかわらず、その速度指定が優先されます。

データ通信を行うには

本商品で利用できるデータ通信の機能について解説します。
ATコマンド、レジスタについては、P63～70を参照してください。

発信する

本商品と相手側装置との接続が完了すると、データ通信が行えます。

電話番号を指定して発信する

ATDコマンドで電話番号を指定してダイヤルします。
(●P68)

例 03-1234-5678を指定する場合
ATD0312345678

着信を受ける

着信があるときは、ATコマンドを実行することにより、相手からの着信要求に応答できます。本商品と相手側装置との接続が完了すると、データ通信が行えます。
相手側の装置からの着信を受ける方法は2種類あります。

自動着信する

ATSOコマンドで自動着信するまでのリング数を設定できます。(●P64)
自動着信すると相手側装置との接続が開始されます。接続が完了すると、パソコンに接続が完了したことが通知されます。

自動着信しない

ATSOコマンドで自動着信するまでのリング数を0に設定すると自動着信は行われません。応答するときは、ATAコマンドを実行します。(●P68)
着信すると、パソコンの画面に「RING」と表示されます。

通信を終了する

通信を終了するときは、+++ (エスケープシーケンス)と続けて入力し、コマンドモードにしてからATHOコマンドを実行します。(●P65、68)



ワンポイント

内線データ通信を行うには
本商品どうしで、32kPIAFSデータ通信が行えます。
次に、W-1000P、W-1100Pに接続した場合の例を示します。

内線72から内線73へ発信する場合
内線72のパソコンのキーボードから「ATD73」と入力し、[Enter]キーを押します。
内線73のパソコンと接続(CONNECT)されればデータ通信が可能となります。



お知らせ

着信は個別着信のみです。サブアドレスを付けて着信させてください。それ以外の番号では着信しません。
W-1000P、W-1100P以外の主電話機などに接続した場合の操作については、各取扱説明書を参照してください。

ATコマンド形式

ATコマンドは、米国Hayes社が開発したモデムを制御するためのコマンドで、多くのモデムで採用されています。本商品は、ATコマンドに準拠しており、さらに拡張コマンドを追加しています。

コマンド形式

ATコマンドは、以下の形式で入力します。

A T コマンド CR

ATで始まり、CRコードで終わります（無効のコマンドは、無視されます）。

コマンド	内容	初期値
A	手動着信	
[A/]	直前に実行したコマンドの再実行	
D	発信	
En	エコー制御	1
Hn	切断	
In	認識コード	
O(オー)	通信状態復帰	
Qn	結果コードの有無	0(ゼロ)
Sn	Sレジスタの書き込み	
Sn?	Sレジスタの表示	
Un	発信番号表示の有無の設定	0(ゼロ)
Vn	結果コードの表示形式	1
Zn	パラメータの初期化	
&Cn	回路CD制御	1
&Dn	回路ER制御	2
&F	フルリセット	
&Kn	シリアルポートフロー制御選択	3
&Sn	回路DR制御	0(ゼロ)
&Wn	メモリへの記憶の設定	
¥S	レジスタ設定値表示	
¥Vn	PS結果コード表示	1
¥Zn	アダプタ間プロトコル表示	0(ゼロ)
#SBn	発信者番号通知	0(ゼロ)
#SNn?	電話番号要求	
#ST?	受信レベル表示	

各コマンドの詳細は「ATコマンド詳細」(P68~70)を参照してください。

結果コード

送出したコマンドに対して表示される本商品からの応答結果を、結果コードといいます。表示される結果コードには、文字形式と数字形式があり、「ATVコマンド」で選択することができます。(P69)

文字形式

CR LF 結果コード(文字) CR LF

数字形式

結果コード(数字) CR

文字	数字	意味
OK	00	ATコマンドが正しく実行されました
CONNECT	01	発信の結果、相手と通信状態になりました データ通信モードへ復帰しました
RING	02	着信がありました
NO CARRIER	03	回線が切断されました
ERROR	04	コマンドフォーマットエラー コマンド状態エラー
BUSY	07	相手が使用中です
NO ANSWER	08	相手が応答しませんでした
CONNECT 2400	10	通信速度2 400 bit/sで接続しました
CONNECT 4800	11	通信速度4 800 bit/sで接続しました
CONNECT 9600	12	通信速度9 600 bit/sで接続しました
CONNECT 14400	15	通信速度14 400 bit/sで接続しました
CONNECT 19200	16	通信速度19 200 bit/sで接続しました
CONNECT 38400	17	通信速度38 400 bit/sで接続しました
CONNECT 57600	18	通信速度57 600 bit/sで接続しました
CONNECT 115200	19	通信速度115 200 bit/sで接続しました
COMPRESSION:NONE	69	圧縮なしで接続しました
PROTOCOL:PIAFS	82	32kPIAFSで接続しました
PROTOCOL:PIAFS64	85	64kPIAFSで接続しました
NOT READY	103	リダイヤル規制時間内です
OUT OF SERVICE	104	圏外です
IN SERVICE	105	圏内です
PS NO RESPONSE	106	主電話機への増設が未登録です
RESTRICTION	107	発信規制中です

レジスタ

レジスタは、設定内容を記憶しておく場所です。本商品には、以下のSレジスタがあります。

レジスタ	説明		レジスタ	説明	
S0	自動応答		S7	接続時間監視	
	設定値：0～255 初期値：0			設定値：1～59 初期値：58	
	0	自動応答しない		1～59	発信のとき、設定時間（秒）以内に 応答がない場合は切断する
	1～255	設定値の数だけRING（結果コード） を送出後、自動応答する RING送出国隔は約3秒	S12	エスケープガード時間	
S1	RING送出国数（参照専用、設定不可）			設定値：0～255 初期値：50	
	0	タイマ値を設定しない		1～255	設定値×0.02秒をガード時間とする
S2	エスケープ文字		S32	XON文字	
	設定値：0～127 初期値：43（+）			設定値：0～127 初期値：17	
	0	エスケープ文字なし		ソフトフロー制御時の送信許可文字（XON）を 設定する	
	1～127	設定した文字でエスケープする （IA5キャラクタコード）	S33	XOFF文字	
S3	復帰文字			設定値：0～127 初期値：19	
	設定値：0～127 初期値：13（[CR]）			ソフトフロー制御時の送信禁止文字（XOFF）を 設定する	
	0～127	設定した文字を復帰文字とする （IA5キャラクタコード）	S103	着サブアドレスの区切り 初期値：2	
S4	改行文字			0：/ 1：¥ 2：*	
	設定値：0～127 初期値：10（[LF]）			S104	発サブアドレスの区切り 初期値：0
	0～127	設定した文字を改行文字とする （IA5キャラクタコード）	0：# 1：% 2：&		
S5	後退文字		S141		無線区間通信速度・接続装置プロトコル変換 初期値：0
	設定値：0～32、127 初期値：8（[BS]）			0：32kPIAFS 1：64kPIAFS	
	0～32、127	設定した文字を後退文字とする （IA5キャラクタコード）		S142	フォールバック指定 初期値：1
		0：フォールバックOFF 1：フォールバックON			

コマンドモードとオンラインモード

パソコンから送信されたデータが、本商品を制御するデータか、相手へ送信するデータかを区別するため、次の2つのモードが用意されています。

コマンドモード

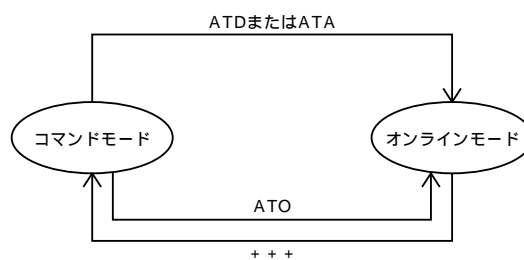
パソコンから入力した文字を、本商品の制御コマンドとみなすモードです。

オンラインモード

実際にデータ通信が行われているモードで、パソコンから入力した文字がそのまま通信相手へ送信されます。

初期状態ではコマンドモードになっており、ATDコマンドで発信したり、ATAコマンドで着信したあと、オンラインモードに切り替わります。

また、オンラインモードから一時的にコマンドモードに切り替えるコマンドとして、エスケープシーケンス(+ + +)があります。



ATコマンドを入力するには

通信ソフトウェア（Windows® 98のハイパーターミナルなど）を利用して、ATコマンドを入力します。また、「AT」と入力することにより、本商品が正しく接続されていることを確認することができます。

例 Windows® 98のハイパーターミナルを利用して接続を確認する場合

1 [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] [アクセサリ] [通信]の順にポイントし、[ハイパーターミナル] をクリックします。

[Hyper Terminal] 画面が表示されます。

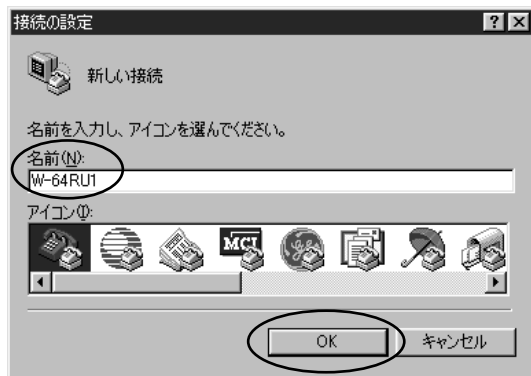
2 [Hypertrm] アイコンをダブルクリックします。



[接続の設定] ダイアログボックスが表示されます。

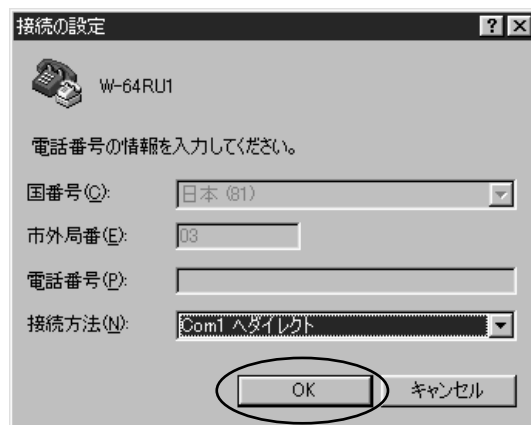
3 [名前] に任意の名前を入力し [OK] をクリックします。

本商品の設定用の名前を付けて保存すると便利です。



4 [接続方法] に本商品が接続されているポートへのダイレクトを選択し、[OK] をクリックします。

例 com1ポートに接続しているとき...「com1ヘダイレクト」



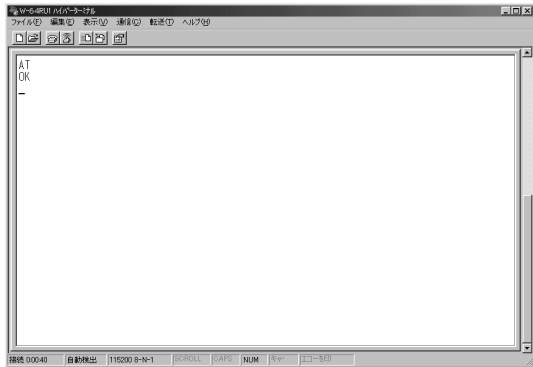
[COM1のプロパティ] 画面が表示されます。

5 通信速度などの設定を入力し、[OK] をクリックします。



ATコマンドを入力できる状態になります。

6 「AT」を入力し、リターン（またはEnter）を押します。



本商品が正しく接続されているときは、「OK」と表示されます。

お知らせ

ATコマンドを使うためには、ATコマンド用のアプリケーションソフトがインストールされている必要があります。ソフトのインストールや設定についての詳細は、ATコマンド用アプリケーションソフトやパソコンなどの取扱説明書を参照してください。

「ハイパーターミナル」以外の通信ソフトウェアをご利用の場合は、お使いのソフトウェアの説明書などを参照して起動し、ATコマンドを入力してください。

ATコマンド入力についての詳細は、各ソフトウェアメーカー、プロバイダ、パソコン通信業者にお問い合わせください。

ATコマンド詳細

ATコマンドを入力するときにnが省略された場合、0（ゼロ）が指定されたものとして動作します。

A	手動着信
機能	着信に対して手動で応答します。
書式	A
入力例	ATA

[A /]	直前に実行したコマンドの再実行
機能	直前に実行したコマンドを再実行します。
書式	[A /] (ATは不要)
入力例	A /

D	発信	
機能	発信処理を行います。	
書式	D	
パラメータ	L	最終番号の再ダイヤル
	0~9、#、*、 (、) -、Space	
入力例	ATD0312345678	
補足	ただし、電話番号中の(、) -、Spaceは無視します。 サブアドレスの区切りの初期値は「*」ですが、S103レジスタで「/」、「¥」、「*」の中から選択できます。「*」をサブアドレスの区切りに選んだ場合には、その記号は電話番号には使用できません。「#」は電話番号には使用できません。	

En	エコー制御	
機能	エコーをするか、しないか設定します。	
書式	En	
サフィックス	n=0	エコーしない
	n=1	エコーする（初期値）
入力例	ATE1	

Hn	切断	
機能	通信を切断します。	
書式	Hn	
サフィックス	n=0	切断
	n=1	無視
入力例	ATH0	

In	認識コード	
機能	製品の認識コードを表示します。	
書式	In	
サフィックス	n=0	504853（本商品と同一のコード）
	n=1	PHS
	n=2	NTTEAST/NTTWEST
	n=3	製品バージョン番号
	n=4	W-PADP W-64RU1
入力例	ATI0	

O (オー)	通信状態復帰
機能	コマンドモード（エスケープモード）から、オンラインモードへ戻ります。
書式	O (オー)
入力例	ATO

Qn	結果コードの有無	
機能	結果コードを表示するかどうかを設定します。	
書式	Qn	
サフィックス	n=0	結果コードを表示する（初期値）
	n=1	結果コードを表示しない
入力例	ATQ0	

Sn	Sレジスタの書き込み
機能	Sレジスタn番にパソコンより入力された値mを書き込みます。
書式	Sn=m (n：Sレジスタ番号、m：値)

Sn?	Sレジスタの表示
機能	Sレジスタn番の値をパソコンに表示します。
書式	Sn? (nはSレジスタ番号)

Un	発着信番号表示の有無の設定	
機能	着信したとき、自分の電話番号や相手の電話番号を表示するかどうかを設定します。(AT¥V0、またはAT¥V2に設定時)	
書式	Un	
サフィックス	n=0	発信番号の表示なし、着信番号の表示なし（初期値）
	n=1	発信番号の表示あり、着信番号の表示なし
	n=2	発信番号の表示なし、着信番号の表示あり
	n=3	発信番号の表示あり、着信番号の表示あり
入力例	ATU0	

Vn	結果コードの表示形式	
機能	結果コードの表示形式を設定します。	
書式	Vn	
サフィックス	n=0	数字形式 (10進)
	n=1	英文字表示 (初期値)
入力例	ATV1	

Zn	パラメータの初期化	
機能	設定値をAT&Wnであらかじめメモリに記憶された内容に戻します。通信中の場合は、切断を行います。本コマンドから行末までのコマンドは無視されます。	
書式	Zn	
サフィックス	n=0	リセット
入力例	ATZ0	

&Cn	回路CD制御	
機能	回路CDの動作を設定します。	
書式	&Cn	
サフィックス	n=0	回路CDを常時ONにする
	n=1	PIAFSデータリングが張られているとき回路CDをONにする (初期値)
入力例	AT&C1	

&Dn	回路ER制御	
機能	回路ERがONからOFFに変わったときの本商品の動作を設定します。	
書式	&Dn	
サフィックス	n=0	無視
	n=1	動作なし
	n=2	ONからOFFで回線切断 (初期値)
	n=3	ONからOFFで回線を切断し、Zコマンド実行
入力例	AT&D2	

&F	フルリセット	
機能	<ul style="list-style-type: none"> すべてのATコマンドおよびSレジスタをデフォルトに戻します。 通信中の場合は、切断を行います。 	
書式	&F	
入力例	AT&F	

&Kn	シリアルポートフロー制御選択	
機能	フロー制御を設定します。	
書式	&Kn	
サフィックス	n=0	フロー制御しない
	n=3	RS/CSでのハードウェアフロー制御 (初期値)
	n=4	XON/XOFFでのソフトウェアフロー制御
入力例	AT&K3	

&Sn	回路DR制御	
機能	回路DRの動作を設定します。	
書式	&Sn	
サフィックス	n=0	常時ON (初期値)
	n=1	回路DRは回路ERにしたがう
入力例	AT&S0	

&Wn	メモリへの記憶の設定	
機能	現在の設定値を記憶します。	
書式	&Wn	
サフィックス	n=0	メモリへ記憶する
入力例	AT&W0	
補足	記憶すべき設定値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ATコマンド En、Qn、Sn、Un、Vn、&Cn、&Dn、&Kn、&Sn、¥Zn、#SBn Sレジスタ S0、S2、S3、S4、S5、S7、S12、S32、S33、S103、S141、S142 	

¥S	レジスタ設定値表示	
機能	ATコマンド、Sレジスタの設定値を表示します。	
書式	¥S	

¥Vn	PS結果コード表示	
機能	103から107の結果コードを表示するかどうかを設定します。(ATQ0に設定時)	
書式	¥Vn	
サフィックス	n=0	105を除く結果コードを表示
	n=1	表示しない (初期値)
	n=2	表示する
入力例	AT¥V1	

¥Zn	アダプタ間プロトコル表示	
機能	接続プロトコルの表示を設定します。	
書式	¥Zn	
サフィックス	n=0	表示しない (初期値)
	n=1	表示する
入力例	AT¥Z0	

#SBn	発信者番号通知	
機能	発信者の番号を相手に通知するかどうかを設定します。	
書式	#SBn	
サフィックス	n=0	通知しない(初期値)
	n=1	発信者番号を通知する
入力例	AT#SBO	

#SNn?	電話番号要求	
機能	本商品の内線番号をパソコンに表示します。	
書式	#SNn?	
サフィックス	n=10	内線番号を表示
入力例	AT#SN10?	

#ST?	受信レベル表示	
機能	受信レベルを表示します。	
書式	#ST?	
入力例	AT#ST?	
表示	<p>0 ; 3段階表示 : 受信した電波の強さ : 10 (固定値)</p> <p>表示は以下の内容を表示します。</p> <p>3段階表示</p> <p>0 : 通信不可 1 : 弱い 2 : 強い</p> <p>7 : 通知不可</p> <p>(ワイヤレスパソコンアダプタで受信レベルの情報が取れなかった場合)</p> <p>受信した電波の強さ</p> <p>電波の強さを数値で表します。値が大きいほど電波が強いことを示します。</p>	

インターネットにうまく接続できないときは

インターネットに接続できないときの主なチェックポイントです。「故障かな?と思ったら」(●P72)と合わせてご確認ください。

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
発信しない	接続ケーブルが外れている	本商品をパソコンに正しく接続してください	●P12、16、25、28、38、41、47、50
	接続ポートの設定が間違っている	パソコンのポートの設定が本商品を接続しているポートになっているか確認してください	●P59
「モデムからの応答がありません」と表示される	接続ポートの設定が間違っている	パソコンのポートの設定が本商品を接続しているポートになっているか確認してください	●P59
「モデムは他のプログラムで使用中です」と表示される	接続ポートを他のアプリケーションが使用している	アプリケーションを終了させてから接続し直してください	-
	モデム内蔵パソコンを使用している	外付けTAを使用する方法をパソコンの取扱説明書やパソコンメーカー窓口で確認してください	-
本商品の通信ランプが点灯したあと、消えてしまう	アクセスポイントの選択が間違っている	INSネット64回線用のアクセスポイントを選択しているか確認してください	●P21、34、43、54
	アクセスポイントの電話番号が間違っている	アクセスポイントの電話番号が正しく入力されているか確認してください	●P21、34、43、54
	ユーザ名、パスワードの入力が間違っている	ユーザ名とパスワードの設定を確認してください	●P24、37、46、57
	プロバイダが混んでいる	しばらく待ってから接続し直してください	-
	モデム情報の選択が間違っている	モデム情報の選択が合っているか確認してください	●P21、34、43、53
PIAFS対応のアクセスポイントに接続できない	主電話機などでの設定が間違っている	主電話機などのデータ通信モードを透過通信に設定してください	主電話機などの取扱説明書を参照してください

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理に出す前に次の点を確認してください。

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
動作しない	接続方法が間違っている	正しく接続してください	☛P12、16、25、28、38、41、47、50
	電源アダプタがコンセントから抜けている	電源アダプタを正しく差し込んでください	☛P12
インターネットに接続できない	RS-232Cケーブルが正しく接続されていない	本商品とご利用になるパソコンに適したRS-232Cケーブルを使用して正しく接続してください	☛P11、16、28、41、50
	USBケーブルが正しく接続されていない	本商品とご利用になるパソコンに適したUSBケーブルを使用して正しく接続してください	☛P11、25、38、47
	ユーザ名、パスワード、サーバの設定が間違っている	正しく設定してください	☛P23、24、36、37、45、46、56、57
パソコン通信に接続できない	RS-232Cケーブルが正しく接続されていない	本商品とご利用になるパソコンに適したRS-232Cケーブルを使用して正しく接続してください	☛P11、16、28、41、50
	USBケーブルが正しく接続されていない	本商品とご利用になるパソコンに適したUSBケーブルを使用して正しく接続してください	☛P11、25、38、47
通信ができない	電波の弱いところにいる	電波の強いところに移動してください	☛P12
	主電話機などから離れすぎている	主電話機などに近づいてください	☛P12
	主電話機などとの間に障害物がある	場所を変えてください	☛P12
	ISDNコードレスホンの主電話機などに増設の設定がされていない	局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください	

インストールに関して

Q. USBポートを使用できるパソコンのOSは何ですか。

A. Windows[®] 98 Second EditionとWindows[®] MeとWindows[®] 2000です。

Q. USBドライバのインストール時にパソコンがフリーズしてしまったのですが。

A. USBドライバのアンインストールを行い、取扱説明書に記載の手順で、もう一度USBドライバをインストールしてください。

データ通信利用時や、設定ユーティリティ利用時

Q. 通信ソフトウェアや設定ユーティリティ動作中にUSBケーブルの抜き差しや本商品の電源のOFF ONを行ったら、パソコンがフリーズしたのですが。

A. お使いのパソコンによっては、通信ソフトウェアの動作中や、設定ユーティリティの動作中に以下のようなことを行うとパソコンがフリーズしたり、例外エラー等が発生することがあります。

- ・ USBケーブルの抜き差し（パソコンのUSBポート、本商品のUSBポートどちらでも）
- ・ 本商品の電源をOFF ONしたとき

Q. パソコンのスタンバイ、サスペンド機能が動作したあと、データ通信（インターネット接続）や設定ユーティリティの起動ができなくなるのですが。

A. パソコンのスタンバイモード、サスペンド機能を使用しないでください。

また、パソコンの省電力機能によりUSBの使用が制限されることがありますので、コントロールパネルの[パワーマネジメント]または[電源の管理]などで、パソコンの省電力機能を停止させてください。

さらに、パソコンによっては起動時のBIOS設定にて省電力の設定を行うものもあります。ご使用になっているパソコンの取扱説明書を参照して、省電力機能を停止させてください。

Q. データ通信（インターネット接続）中にデータ送受信ができなくなるのですが。

A. ブラウザや電子メールなどのアプリケーションソフトウェアを同時に動作させた場合など、過負荷なデータ通信を行った場合に、データ送受信ができなくなる場合があります。本商品の故障ではありません。

その他

Q. パソコン動作中にUSBケーブルを抜き差しするとパソコンがフリーズしたり、例外エラーが発生するのですが。

A. お使いになっているパソコンの環境によっては、パソコン動作中にUSBケーブルの抜き差しや、本商品の電源OFF ONを行うと、パソコンがフリーズしたり、例外エラーが発生することがありますのでご注意ください。

Q. 他のUSBデバイスと同時に使用できますか。

A. 1台のパソコンに本商品と他のUSBデバイスを同時に接続した場合、両デバイスが1つのUSBバスを共用することになります。個々のデバイスの特性、制御方法の違いにより、お互いが影響しあい、本商品の通信速度が遅くなったり使用できなくなる場合があります。

このような場合には、他のUSBデバイスと同時に接続しないようにしてください。

Q. USBポートが使用できないのですが。

A. パソコンによってはUSBポートがご利用になれない場合があります。詳しくは、パソコンメーカーにお問い合わせいただくか、RS-232Cポートをご利用ください。

USBポートに関するQ&A

Q. Windows[®] でUSBドライバをインストールしても、USBポートが使用できない場合は？

A. 以下の理由が考えられます。

USBドライバが正しくインストールされていなかった。

USBドライバのアンインストールを行い、再度USBドライバをインストールしてください。

他のデバイスとCOMポートの競合が起きている。

USBドライバを正しくインストールしたあとも、USBポートが使用できない場合は、インストールしたUSBドライバとすでにパソコンにインストール済みの他のデバイスとで、競合（COMポートの競合）が起きている可能性があります。

COMポートの競合を回避する手順としては、以下の2つがあります。

1.競合している他デバイス（拡張RS-232Cボードや赤外線デバイス）を使用不可にします。

「コントロールパネル」の「システム」 - 「デバイスマネージャ」の「ポート（COM/LPT）」で、競合しているポートのデバイスをダブルクリックします。

[プロパティ] 画面が表示されたら、「デバイスの使用」枠内の [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] のチェックボックスをクリックしたあと、[OK] をクリックします。

（Windows[®] 2000の場合は、[デバイスの使用状態] によって [このデバイスを使わない（無効）] を選択します。）

競合しているポートのデバイスに赤色の×マークが付きます。

パソコンを再起動してください。

2.他デバイスの使用COMポート番号の設定を、本商品のUSBドライバと競合しない番号に変更します。

他デバイスのCOMポートの設定方法については、製品により異なるため、その製品の取扱説明書をご覧になるかその製品のメーカーまたはパソコンメーカーにお問い合わせください。

Q. USBドライバをアンインストールしたいのですが。

A. [W-PADP W-64RU1 USB] をインストールする前の状態に戻したいときは、付属品のワイヤレスパソコンアダプタRU専用フロッピーディスクに格納されているアンインストーラを使用して行います。

起動中のアプリケーションをすべて終了する。

ワイヤレスパソコンアダプタRU専用フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットする。

[マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、フロッピーディスクドライブアイコンをダブルクリックし、[UNINST] フォルダをダブルクリックする。

パソコンのOSにより以下の操作を行う。

・Windows[®] 98 Second Editionの場合

[WIN98SE] フォルダをダブルクリックして、[98SE_UNINST.exe] をダブルクリックする。

・Windows[®] Meの場合

[WINME] フォルダをダブルクリックして、[ME_UNINST.exe] をダブルクリックする。

・Windows[®] 2000の場合

[WIN2000] フォルダをダブルクリックして、[2000_UNINST.exe] をダブルクリックする。

表示される指示に従ってアンインストールする。

Q. フロー制御の設定は？

A. USBポートをお使いの場合、通信ソフトウェアの設定はハードウェア制御（RS-CSフロー制御、CTS-RTSフロー制御）に設定してご利用ください。

バージョンアップ

本商品は、ファームウェアのバージョンアップを行うことができます。
バージョンアップソフトウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードして行く予定です (URL <http://www.ntt-east.co.jp/ced/> または <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>)

以下では、Windows® 98を例に、バージョンアップの操作手順を説明します。

ダウンロードの方法は、当社の通信機器商品のご案内ホームページを参照してください。

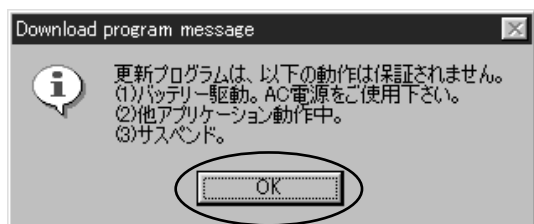
1 本商品とパソコンをRS-232Cケーブルで接続する。

2 ダウンロードしたバージョンアップファイルをダブルクリックする。

バージョンアップファイル名は一例です。



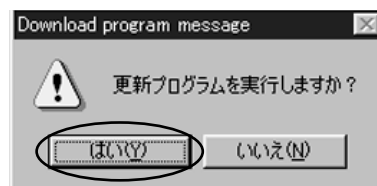
3 表示されるメッセージの内容を確認し、[OK] をクリックする。



4 本商品を接続しているCOMポート番号を入力し、[Start] ボタンをクリックする。



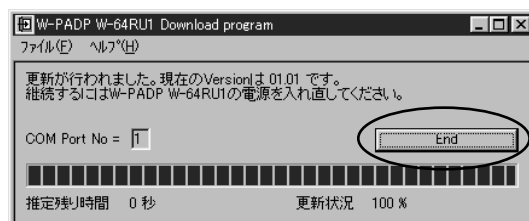
5 [はい] をクリックする。



バージョンアップを開始します。



6 [End] をクリックする。



これでバージョンアップは終了です。

本商品をリセットするために、一度電源プラグを抜いてください。



ワンポイント

バージョンアップにかかる時間は

バージョンアップはおよそ10分程度で終了しますが、本商品とパソコン間の通信速度やお使いになるパソコンの能力により異なります。

COMポート番号の確認方法は

OSとしてWindows[®] 98を使用している場合の例を示します。他のOSを使用している場合、多少手順は異なりますが、同様の方法で確認できます。

[マイコンピュータ]を開き、[コントロールパネル]
をダブルクリックする

[モデム]をダブルクリックする

[標準28800 bpsモデム]をクリックして[プロパティ]
をクリックする

[全般]タブの[ポート]に本商品を接続している
COMポート番号が表示される



お知らせ

バージョンアップを正常に終了させないと、本商品が動作できなくなります。

STOP お願い

バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。故障の原因になります。

バージョンアップ中はパソコンの電源を切ったり、バージョンアップを中断しないでください。故障の原因となります。

バージョンアップはRS-232Cポートを利用して行ってください。USBポートではバージョンアップを行うことはできません。

数字 / アルファベット

32kPIAFS 59、60
 64kPIAFS 59、60
 ATコマンド 62、63
 ATコマンド形式 63
 ATコマンド詳細 68
 ATコマンドを入力する 66
 INSネット64回線 9
 IPアドレス 23、36、45、56
 PIAFS 9、59
 RS-232Cケーブル 10、67
 RS-232Cポート 11
 Sレジスタ 64
 TCP/IP 20、23、32、36、45、56
 USBケーブル 10
 USBポート 11
 Windows® 95 14、16
 Windows® 98 14、25
 Windows® 98 Second Edition 14、25
 Windows® 2000 14、47
 Windows® Me 14、38

五十音

【ア行】

アクセスポイント 21、34、43、54
 インターネット
 接続できないときのチェックポイント 71
 接続先の設定 21、34、43、53
 接続に必要なソフトウェアの
 インストール 18、30
 利用までの手順 13
 エスケープシーケンス 62、65
 オンラインモード 65

【カ行】

国番号 21、34、43、54
 結果コード 63
 故障かな?と思ったら 72
 コマンド形式 63
 コマンドモード 65

【サ行】

市外局番 21、34、43、54
 自動着信 62
 終了
 通信を終了する 62

仕様 78
 接続
 インターネットへ接続する 21、34、43、53
 インターネットへの接続を
 設定する 21、34、43、53
 本商品を接続する 12、16、25、28、
 38、41、47、50

【タ行】

ダイヤルアップネットワーク 13、18、21、30、
 34、43
 着信 62
 通信ランプ 11
 データ通信 62
 電源アダプタ 10、12
 電源アダプタコード差込口 11、12
 電源ランプ 11
 電波の状態 12
 電話番号 21、34、43、54

【ハ行】

バージョンアップ 75
 ハイパーターミナル 66
 パスワード 24、37、46、57
 発信 62
 付属品 10
 フロッピーディスク 10
 プロバイダ 13
 保守サービス 79

【マ行】

無線接続 9
 無線ランプ 11、12
 モデム定義ファイル 16、28、41、50
 モデムドライバ 25、38、47

【ヤ行】

ユーザ名 21、34、43、53

【ラ行】

ランプ表示 11
 レジスタ 64

通信規格	PIAFS (PHS Internet Access Forum Standard) 2.0版準拠
通信方式	全二重 (データのみ)
制御コマンド	ATコマンド
通信速度	最大58 400 bit/s
パソコンとの転送速度	2 400、4 800、9 600、14 400、19 200、38 400、57 600、115 200 bit/s
エラー訂正	PIAFS準拠
無線区間インタフェース	RCR STD-28 第3版準拠
ホストインタフェース	RS-232Cインタフェース (9ピン DSUBコネクタ)
	USBインタフェース (4ピン シリーズBプラグ)
使用電源	AC100 ± 10 V (50/60 Hz)
消費電力	約4 W
外形寸法	約138(縦) × 約77(横) × 約24(高さ) mm (アンテナの突起含む)
質量	約110 g

本商品に使用可能な電源アダプタは、▽91-55962 (定格 入力 : AC100 V 6 VA 50/60 Hz 出力 : DC9 V 200 mA) です。

保証について

保証期間(1年間)中の故障につきましては「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。

(詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。)

保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	修理に要した費用をいただきます。 (修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。) (故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。) 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

故障の場合は


故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター： 0120-109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： 0120 - 109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2000 NTTEAST・NTTWEST

